

# マニュアル ステアリング

専用工具	11-2	ギヤ ボックス	
構成図	11-3	取外し	11-18
点検、調整		展開図/点検	11-20
遊び、ゆるみ及びガタ	11-4	取付け	11-21
操作具合	11-4	分解	11-23
ラック ガイドの調整	11-4	組立	11-25
ステアリング ホイール(SRSエアバッグ非装備車)		タイロッド エンド	
取外し	11-5	ボール ジョイント ブーツの交換	11-28
展開図	11-5		
取付け	11-5		
* ステアリング ホイール(SRSエアバッグ装備車)			
取外し	11-6		
展開図	11-8		
取付け	11-9		
* コラム			
取外し	11-10		
展開図/点検	11-12		
分解	11-13		
組立	11-14		
取付け	11-16		

## SRSエアバッグ システム-タイプ II

この車にはタイプによりSRSエアバッグ システムが採用されている。SRSエアバッグ システムの整備作業を正しく、安全に行うための情報は、本サービス マニュアルの「16章、SRSエアバッグ システム」にすべて記載してある。

なお、SRSエアバッグ システム以外の整備作業を行うにあたり、SRSエアバッグ システム関連で注意を必要とする項目については、目次に\*マークで示してある。  
したがって、これらの項目の整備作業は本サービス マニュアルの「16章、SRSエアバッグ システム」のワイヤリング図等を参照し、SRSエアバッグ システムに影響を与えないよう注意して行うこと。

### 注意

- SRSエアバッグ システムの整備は必ずホンダ販売店で行う。
- SRSエアバッグ システムについて、正しい整備作業を行わなかった場合、または不適正な部品の交換作業を行ったりするとエアバッグが誤作動をしてけがをすることがあるので、十分注意をすること。
- SRSエアバッグ システムのすべてのワイヤ ハーネスには、黄色のカバーを施してあり、他のシステムと区別をしています。これらは、ステアリング コラム、インストルメント パネル内に配線されている。  
したがって、下記のような場合はSRSエアバッグ システムに影響を与える恐れがあるので、必ずホンダ販売店に相談すること。

～ハンドル付近の修理。

{ ハンドル中央部にはSRSユニット(衝撃感知用センサ)、インフレーター等が取付けられているため、強い衝撃を与えないよう充分注意して下さい。 }

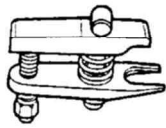
～インストルメント パネル右裏側及びヒューズ ボックス付近のワイヤ ハーネス関連の修理。

# 専用工具

No.	工具番号	工具名称	備考
①	07LAF-SK70101	ステアリングシャフト インストーラ	
②	07MAC-SL00200	ボールジョイント リムーバ、28mm	
③	07746-0020100	インナ ハンドルB	
④	07MAA-SL00100	ロック ナット レンチ、40mm	
⑤	07974-6790000	タイロッド ブーツ ドライバ	



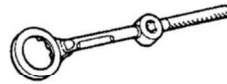
①



②



③



④



⑤

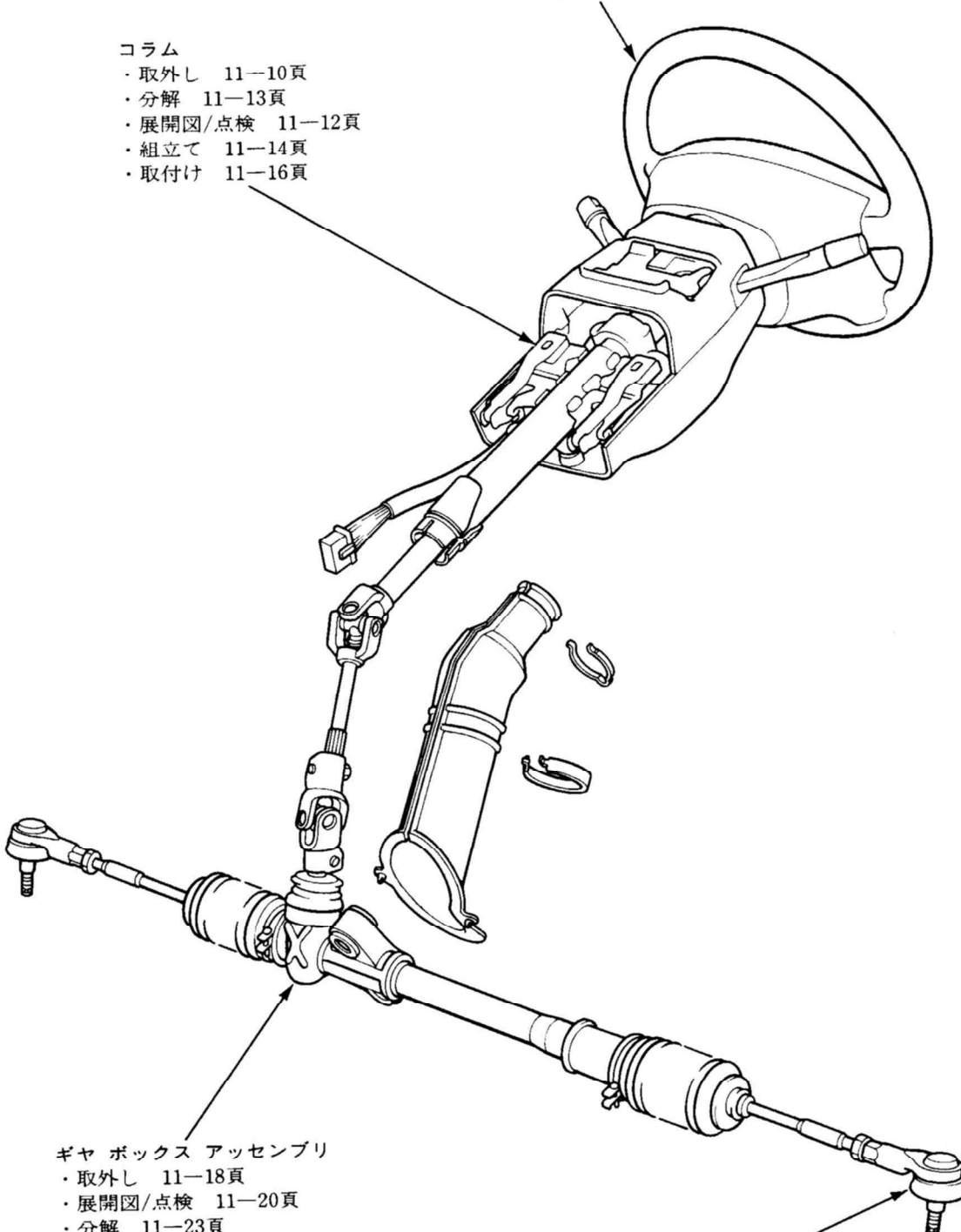
# ステアリング

## 構成図

- \* ステアリング ロックの交換は16章参照。
- エアバッグ アッセンブリまたは、スリップ リングのみの交換作業、エアバッグ アッセンブリの廃却作業は16章に記載してある。

- ステアリング ホイール
- SRSエアバッグ非装備車：
    - ・取外し、取付け、展開図 11-5 頁
  - SRSエアバッグ装備車：
    - ・取外し 11-6 頁
    - ・展開図 11-8 頁
    - ・取付け 11-9 頁

- コラム
- ・取外し 11-10 頁
  - ・分解 11-13 頁
  - ・展開図/点検 11-12 頁
  - ・組立て 11-14 頁
  - ・取付け 11-16 頁



- ギヤ ボックス アッセンブリ
- ・取外し 11-18 頁
  - ・展開図/点検 11-20 頁
  - ・分解 11-23 頁
  - ・組立て 11-25 頁
  - ・取付け 11-21 頁

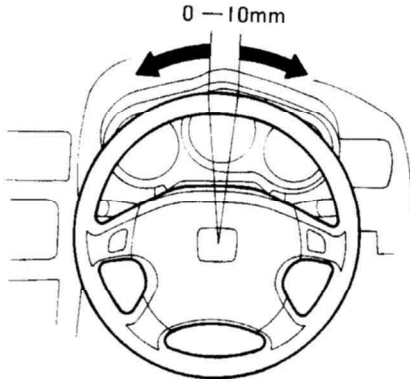
- タイロッド ボール ジョイント ブーツ
- ・交換 11-28 頁

# 点検、調整

## 遊び、ゆるみ及びガタ

- ①フロント ホイールが直進の位置で、ステアリングホイールの遊びを点検する。

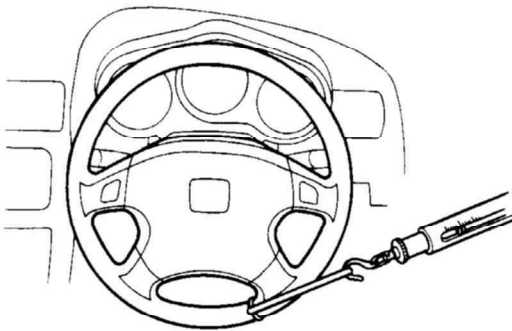
ステアリング ホイール円周上での遊び  
標準値：0—10mm



- ②ステアリング ホイールを軸方向および、軸と直角方向に動かし、コラム、ブッシュ、ステアリングジョイントにガタがないことを点検する。

## 操作具合

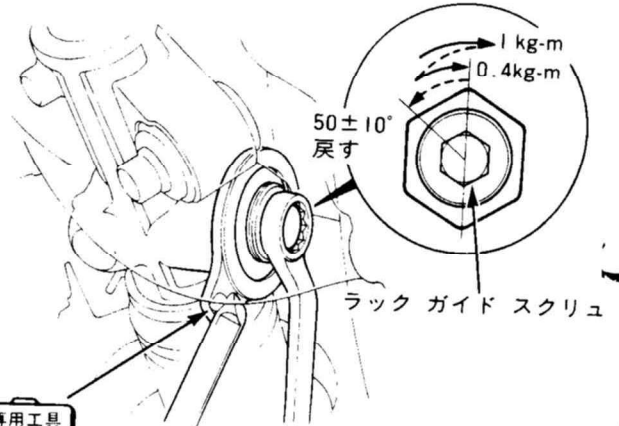
実走行し、ステアリングホイールの異常な振れ、ガタ、異音、とられ、重さを点検する。  
また、フロントホイールを浮かせ、まっすぐにした状態で、ステアリングホイールが1.0kg以下で回り始めるか点検する。



## ラックガイドの調整

★ステアリングホイール直進位置で調整すること。

- ①専用工具で、ロックナットとラックガイドスクリュをゆるめる。
- ②ラックガイドスクリュを1kg-mのトルクで一度締付けて戻し、再度0.4kg-mで締付ける。
- ③ラックガイドスクリュを基準角度まで戻す。  
基準戻し角度：50±10°

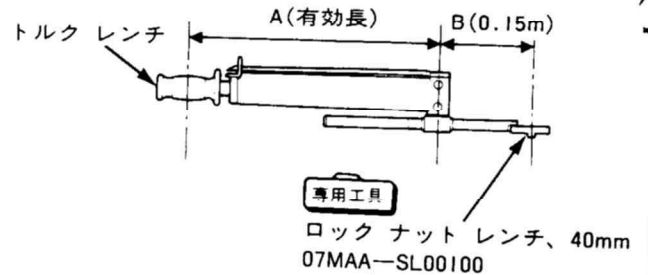


専用工具

ロックナットレンチ、40mm  
07MAA—SL00100

- ④ラックガイドスクリュを固定し、ロックナットを専用工具で締付ける。  
規定トルク：2.5kg-m

★専用工具を使用して、ロックナットを締付ける場合、トルクレンチの読み値と実際のトルクに差が生じるので注意すること。  
レンチの読み値は次の要領で求める。



専用工具

ロックナットレンチ、40mm  
07MAA—SL00100

• 計算式：

$$\text{トルクレンチ読み値} = \frac{\text{トルクレンチ有効長(m)} \times \text{規定トルク(kg-m)}}{\text{トルクレンチ有効長(m)} + 0.15(m)}$$

• 計算例：920F型(有効長345mm)のトルクレンチを使用する場合のトルクレンチ読み値

$$\frac{0.345(m) \times 2.5(kg-m)}{0.345 + 0.15(m)} \approx 1.7(kg-m)$$

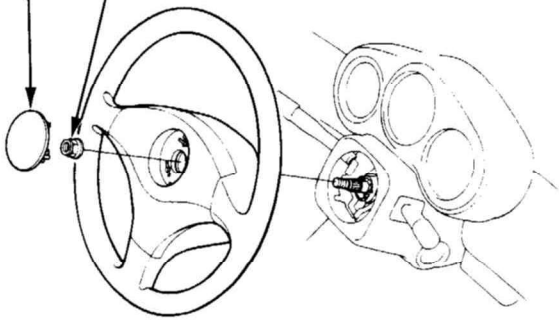
# ステアリング ホイール(SRSエアバッグ非装備車)

## 取外し

ホイール エンブレムを外し、前輪を直進状態にしてステアリング ホイールを取外す。

★ホイール エンブレムは、損傷を与えないよう注意して取外すこと。

ホイール エンブレム  
ステアリング ホイール ナット  
分解時交換



## 取付け

前輪を直進状態にしてステアリング ホイールを取付ける。

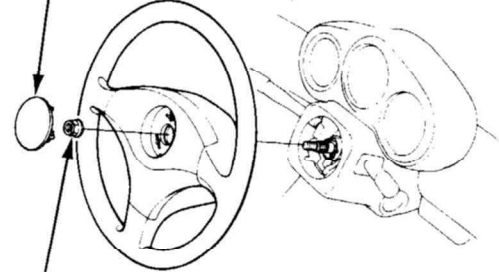
★ステアリング ホイール シャフトの溝とターン シグナル キャンセリング スリーブの突起を合せて取付けること。

ターン シグナル  
キャンセリング スリーブ

突起

溝

ホイール エンブレム



トルク 5.0kg-m

## 展開図

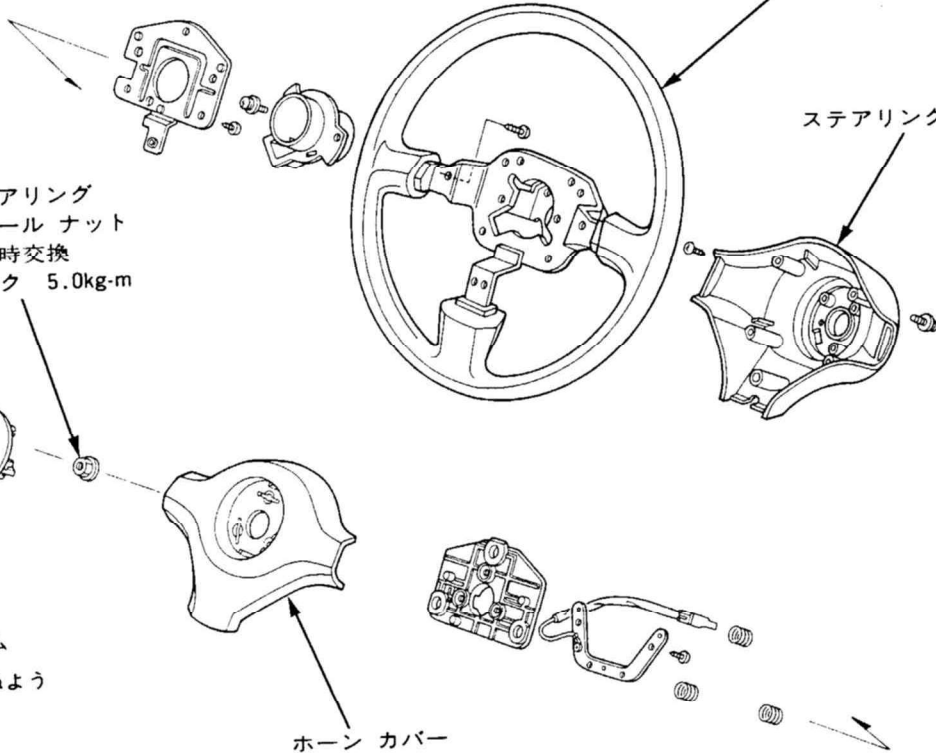
ステアリング  
ホイール ナット  
分解時交換  
トルク 5.0kg-m

ホイール エンブレム  
★取外しは傷を与えぬよう  
注意すること。

ホーン カバー

ステアリング ホイール

ステアリング ロア カバー



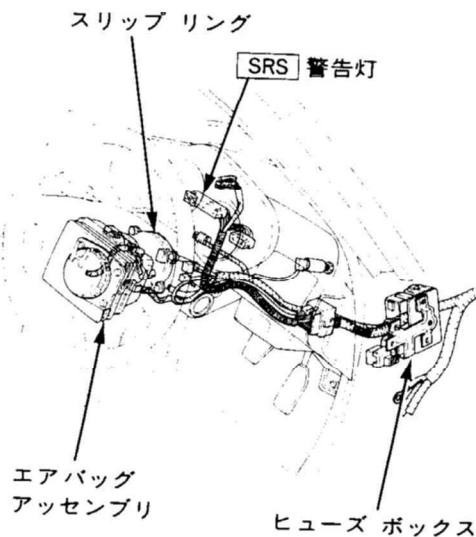
# ステアリング ホイール(SRSエアバッグ装備車)

## 取外し

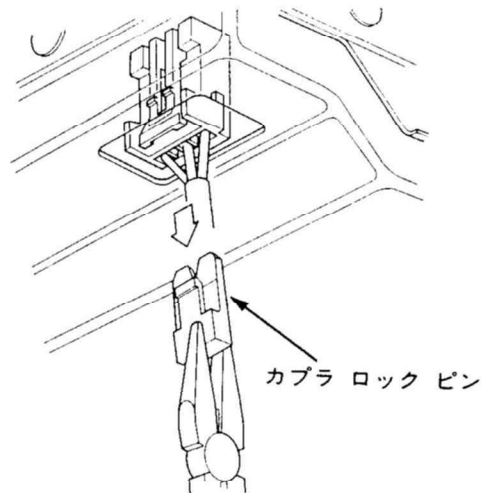
**注意** エアバッグ アッセンブリは必ずパッド面を上に向けて保管しておくこと。パッド面を下にしておくと、万一エアバッグ アッセンブリが作動(膨張)するようなことがある場合、金属部が体に当り危険である。

### 注意

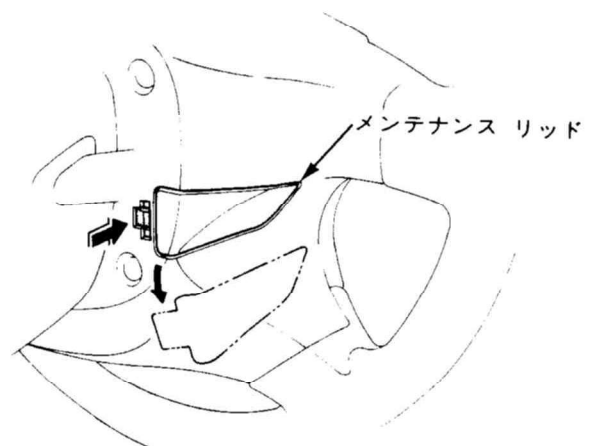
- ・SRSエアバッグ システム用のワイヤ ハーネスは黄色の保護チューブが巻かれており、他のシステムのワイヤ ハーネスと区別している。
- ・SRSエアバッグ システムのワイヤ ハーネスに損傷、切損等が生じた場合、ハンダ等の修理を行ってはならない。必ず新品と交換すること。
- ・整備中に、エアバッグ アッセンブリを落したり、ぶついたりしないように十分注意すること。万一床に落したり、オイルや洗い油が付着したものは新品と交換すること。



★SRSユニットとスリップ リングに接続されているカブラにカブラ ロック ピンが取付けられている場合は、ロック ピンを取外してからカブラの接続を外すこと。また、カブラ ロック ピンは、組立て時には不要の部品なので廃却する。詳しくは16章参照。



- ①イグニッション スイッチをOFFにして、バッテリーのマイナス、プラス ケーブルの接続を外す。
- ②ステアリング ホイールを直進状態にし、イグニッション キーを"LOCK"の位置にして抜く。
- ③ステアリング ロア カバーから、左右のメンテナンス リッドを取外す。



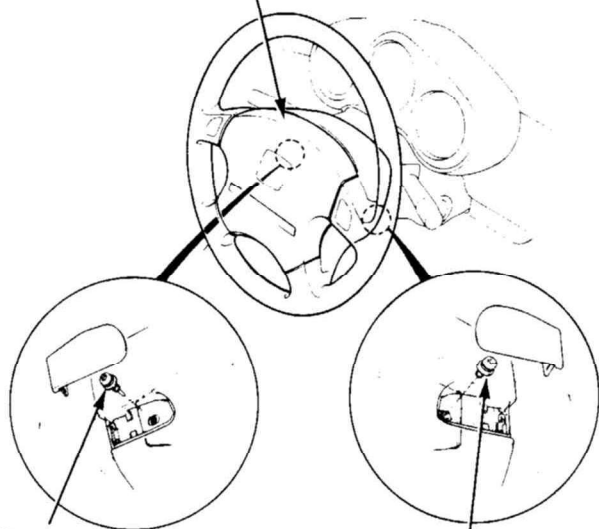
④トルクス® ビットT30を使用して、左側のトルクス® ボルトを先に取外す。

**注意**

- ・トルクス® ボルトはネジロック処理をしているので取付け時は新品と交換すること。
- ・バッテリー ケーブルを外した後、3分以上経過してからトルクス® ボルトを取外すこと。

⑤右側の6 mmトルクス® ボルトを取外す。

エアバッグ アッセムブリ



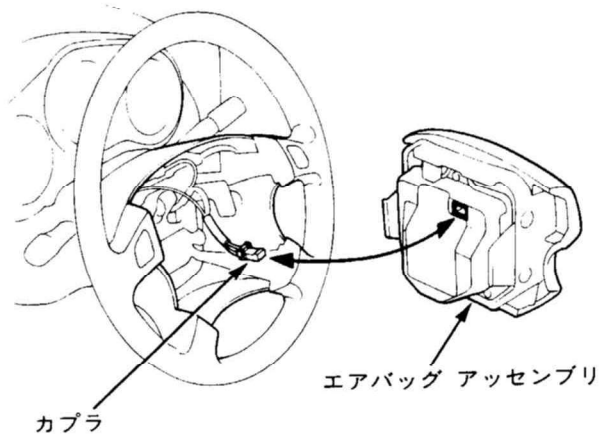
6 mm  
トルクス® ボルト  
分解時交換

✳先に外すこと。

6 mm  
トルクス® ボルト  
分解時交換

⑥5 Pカプラ(黄色)の接続を外し、エアバッグ アッセムブリを取外す。

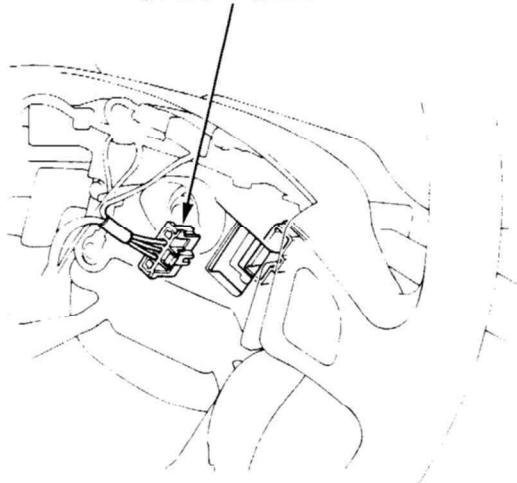
- ✳・カプラにロック ピンが取付けられている場合は、カプラ ロック ピンを取外してからカプラの接続を外すこと。
- ・取外したロック ピンは廃却する。



⑦スリップ リングから5 Pカプラ(黄色)の接続を外す。

- ✳・カプラ ロック ピンが取付けられている場合は、カプラ ロック ピンを取外してからカプラの接続を外すこと。
- ・取外したロック ピンは廃却する。

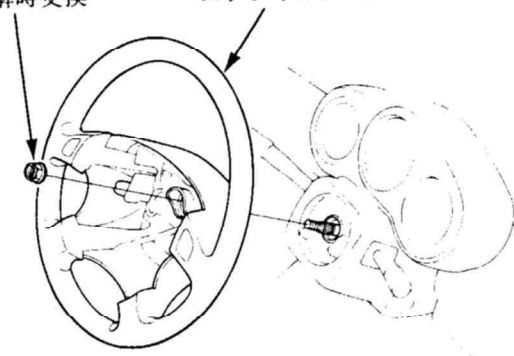
5 Pカプラ(黄色)



⑧ステアリング ホイールを取外す。

ステアリング  
ホイール ナット  
分解時交換

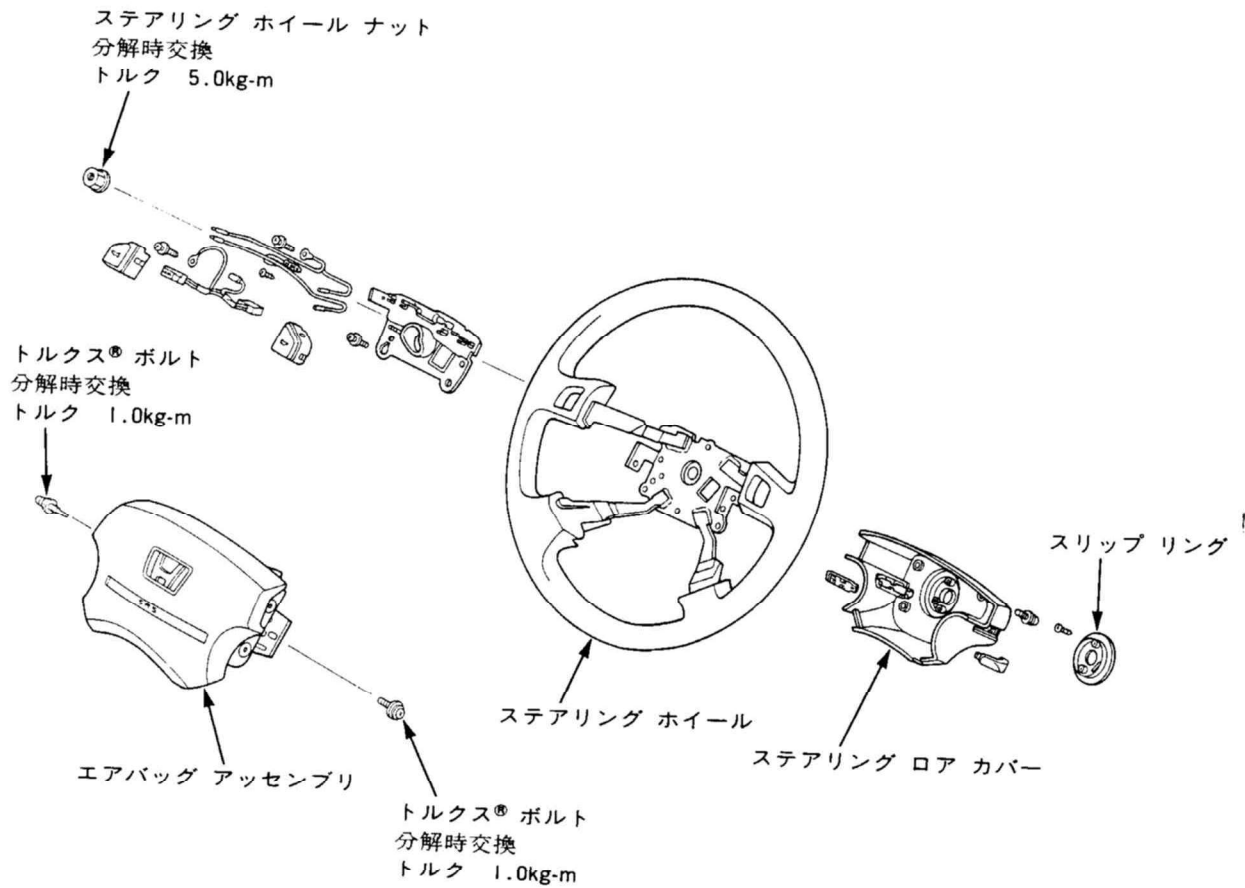
ステアリング ホイール



# ステアリング ホイール(SRSエアバッグ装備車)

## 展開図

\*エアバッグ アッセンブリを廃却する場合は16章参照。

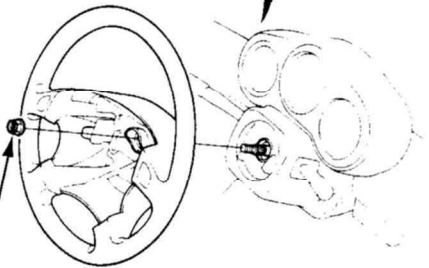
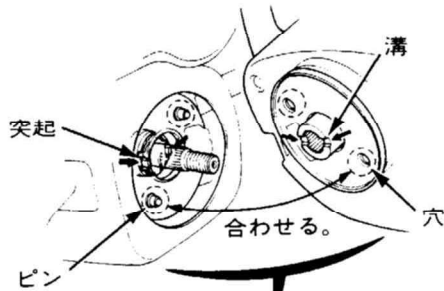




## 取付け

- ①ステアリング ホイールを取付け、ステアリング ホイール ナットを規定トルクで締付ける。

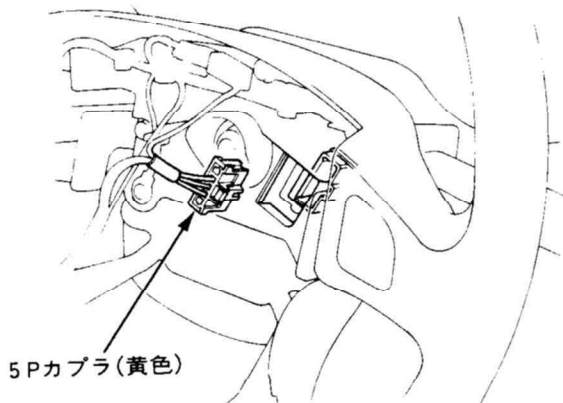
- \* ステアリング ホイールが直進位置で、ホイールの穴とスリップ リングのピンを合わせる。
- ・ステアリング ホイール シャフトの溝とターン シグナル キャンセリング スリーブの突起を合せて取付けのこと。



ステアリング ホイール ナット  
トルク 5.0kg-m

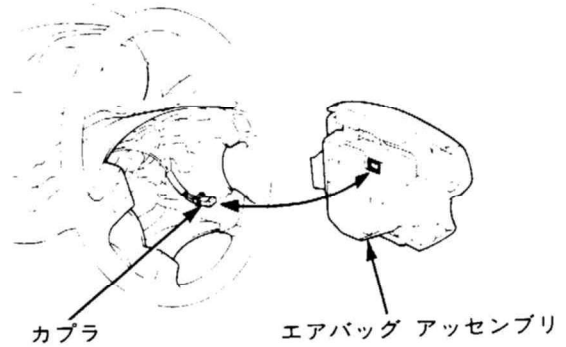
- ② 5Pカブラ(黄色)をスリップ リングに接続する。

- \*カブラを接続後、ロック ピンを取付ける必要はない。



- ③ 5Pカブラ(黄色)をエアバッグ アッセンブリに接続する。

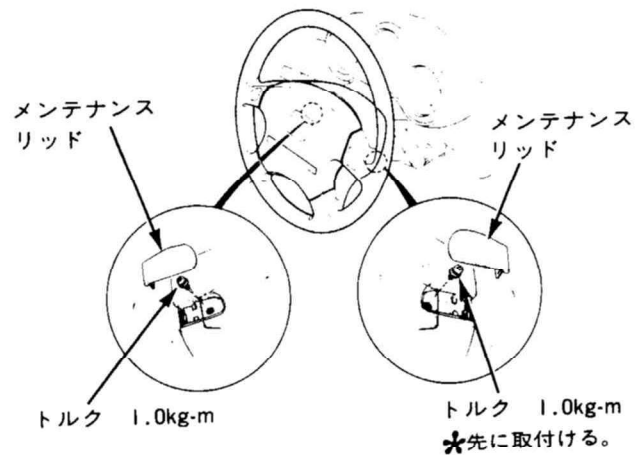
- \*カブラを接続後、ロック ピンを取付ける必要はない。



- ④新品のトルクス® ボルトで、エアバッグ アッセンブリをステアリング ホイールに取付ける。

### 注意

- ・トルクス® ボルトは、ハンドルが直進状態で右側のボルトを先に取付ける。
- ・ワイヤ ハーネスを噛み込ませないように、注意すること。
- ・必ず専用のトルクス® ボルトを使用し、一般のボルトを代用しないこと。



\*先に取付ける。

- ⑤ バッテリー ケーブルを接続する。

- ⑥ エアバッグ アッセンブリ取付け後、次の点検を行う。

- ・イグニッション スイッチをONで、約6秒後にSRS警告灯が消灯すること。またSRSユニット内のLEDが正常点滅(1回)表示していることを必ず確認すること。(16-3頁参照)
- ・ホーン スイッチの作動を確認すること。

- ⑦ 左右のメンテナンス リッドをロア カバーに取付ける。

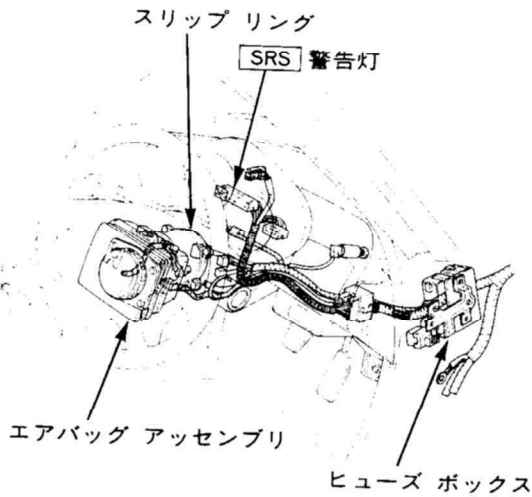
# コラム

## 取外し

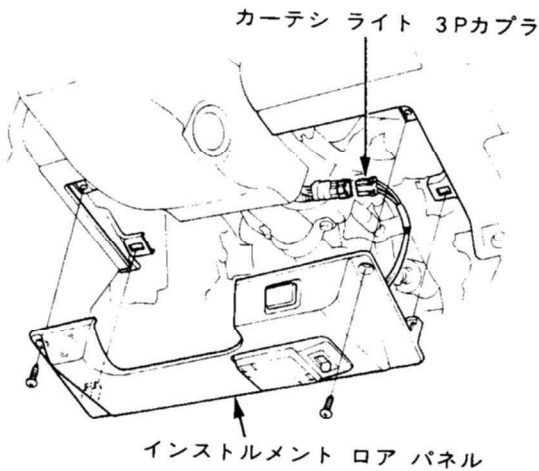
SRSエアバッグ システムを装備しているタイプには、下記の注意が必要である。

### 注意

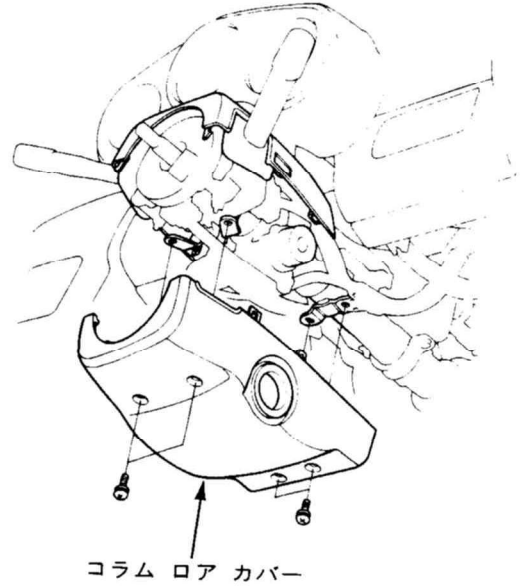
- SRSエアバッグ システム用のワイヤ ハーネスは黄色の保護チューブが巻かれており、他のシステムのワイヤ ハーネスと区別している。
- SRSエアバッグ システムのワイヤ ハーネスに損傷、切損等が生じた場合、ハンダ等の修理を行ってはならない。必ず新品と交換すること。
- SRSエアバッグ アッセンブリを外す場合または、システム用のワイヤ ハーネスの接続を外す場合、イグニッション スイッチをOFFにし、バッテリーからマイナスおよびプラス ケーブルを外した後、3分以上経過してから作業を開始すること。
- カプラにロック ピンが取付けられている場合は、カプラ ロック ピンを取外してから接続を外すこと。



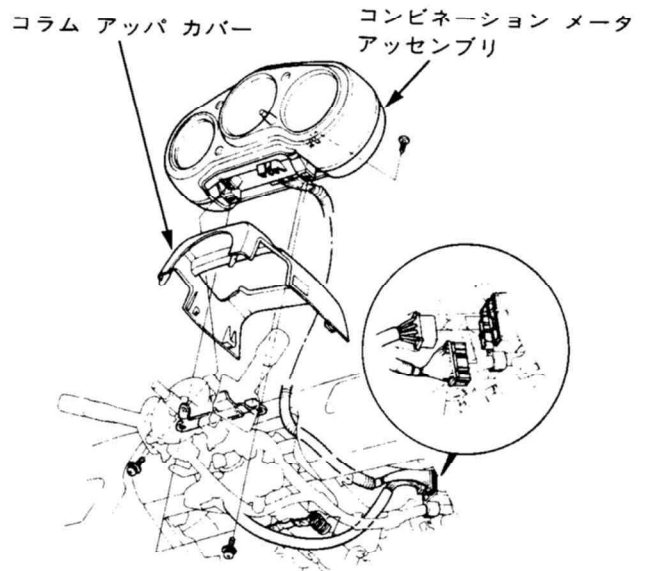
- ①ステアリング ホイールを取外す(11-5、6頁)。
- ②インストルメント ロア パネルを取外す。



- ③コラム ロア カバーを取外す。



- ④コンビネーション メータとイグニッション スイッチからの接続を外す。
- ⑤メータ カバーを外し、コンビネーション メータ アッセンブリとコラム アッパ カバーを取外す。

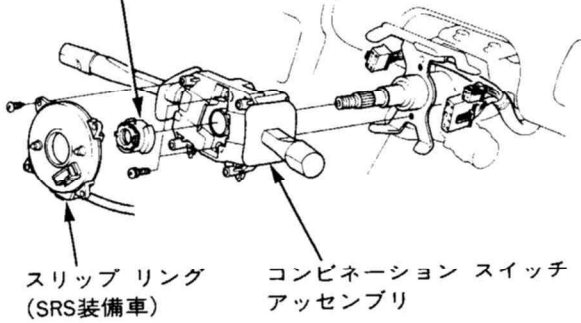


⑥コンビネーション スイッチからカプラの接続を外す。

⑦スリップ リング(SRS装備車)、コンビネーション スイッチとターン シグナル キャンセリング スリーブを取外す。

★スリップ リングとキャビン ワイヤ ハーネスの接続は外さないこと。

ターン シグナル  
キャンセリング スリーブ

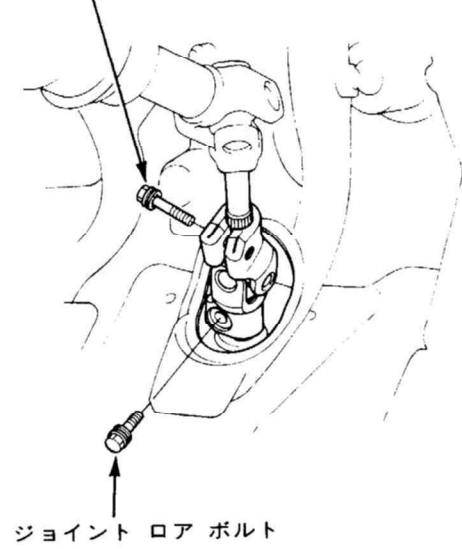


⑧ステアリング ジョイント カバーを取外す。

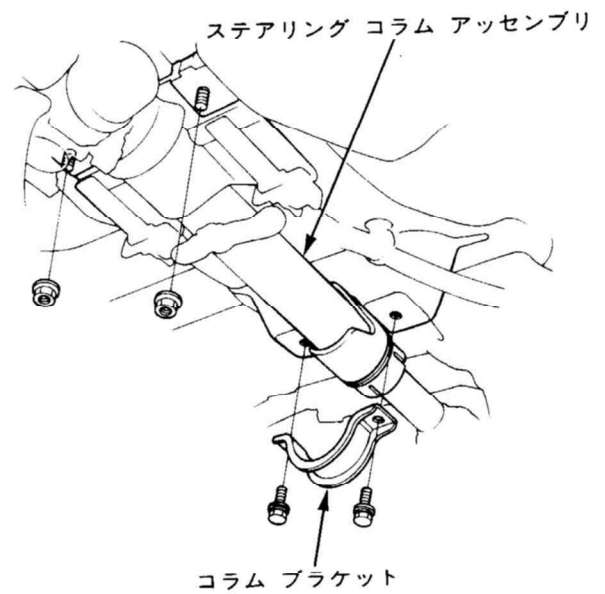


⑨ステアリング ジョイントのアップ ボルトとロア ボルトを外す。

ジョイント アップ ボルト

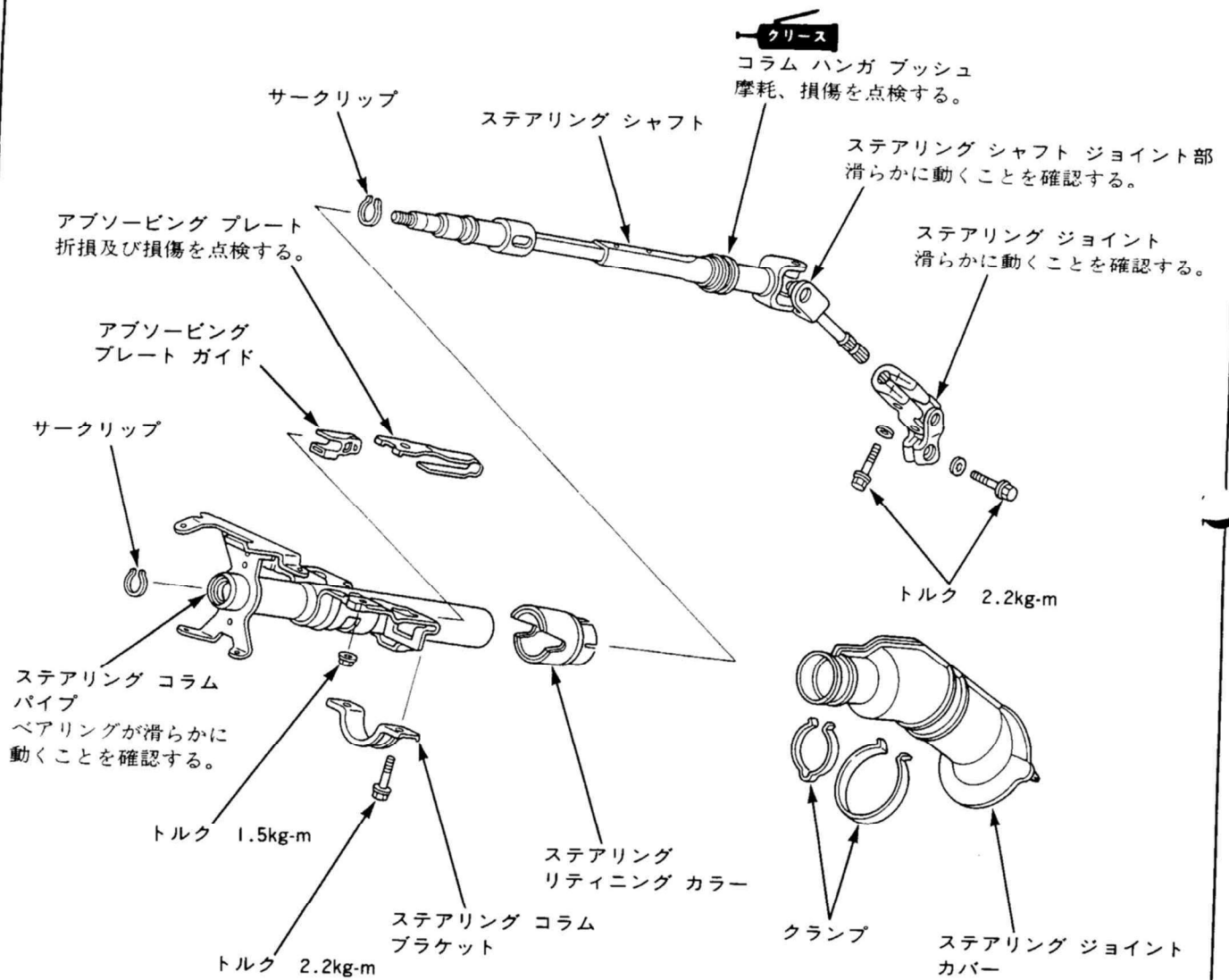


⑩ステアリング コラム アッセンブリを取外す。



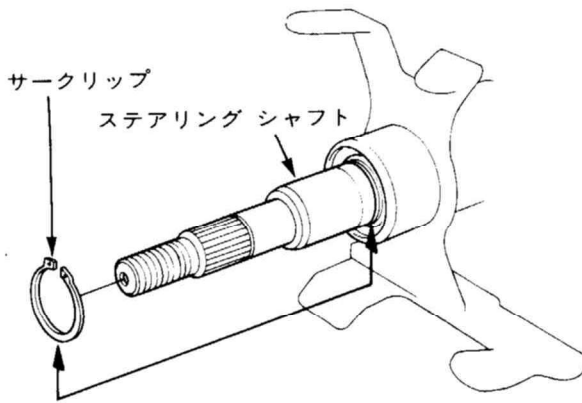
# コラム

## 展開図/点検

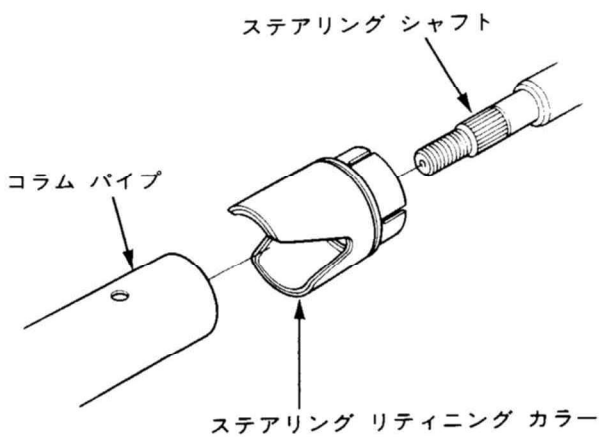


## 分解

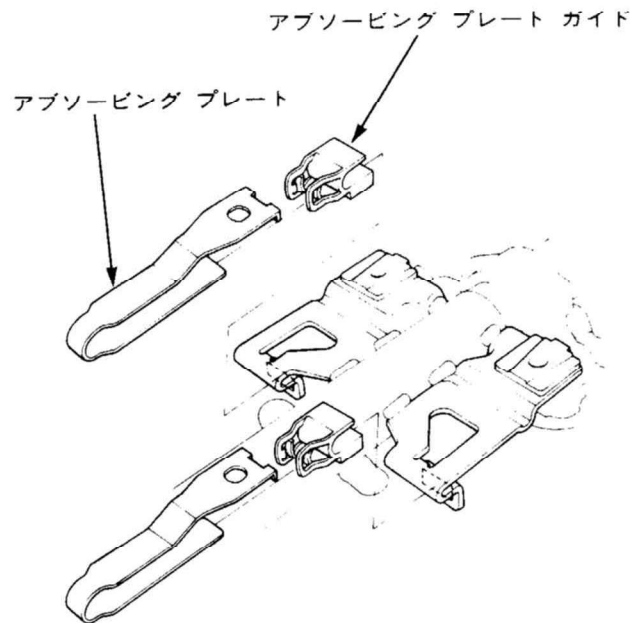
- ①ステアリング シャフトからサークリップを外す。  
\*イグニッション キーを差込み、“ACC”の位置にしてロックを解除しておく。



- ②ステアリング シャフト先端をたたいて、コラム パイプからシャフトを外す。  
\*シャフト先端のねじを損傷させないよう、プラスチックハンマを使用すること。  
**注意** 強く叩き過ぎるとシャフトのシャーピンに損傷を与える恐れがあるので慎重に作業を行うこと。  
③ステアリング リティニング カラーを外す。



- ④アブソービング プレートとアブソービング プレート ガイドを外す。

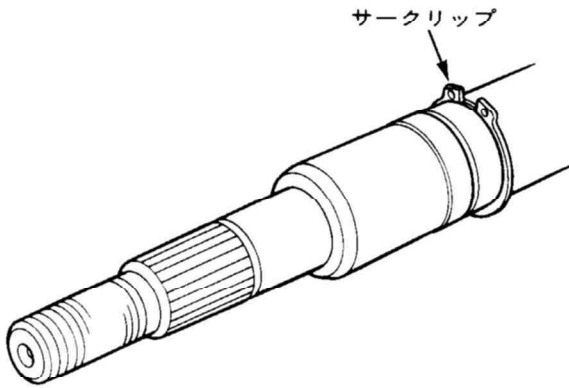


# コラム

## 組立て

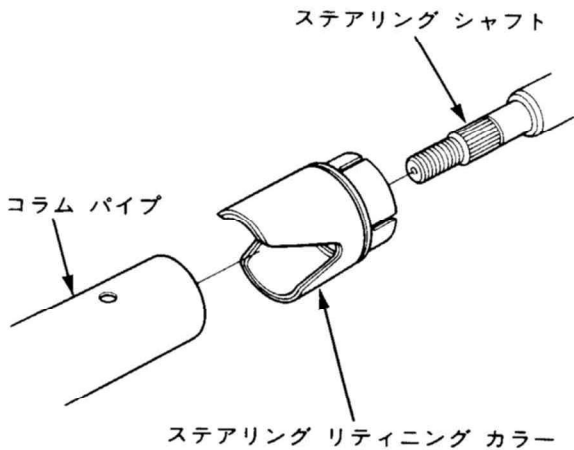
- ①ステアリング シャフトの奥側の溝に、サークリップを取付ける。

★イグニッション キーを差込み、「ACC」の位置にして、ロックが解除していることを確認しておく。



- ②ステアリング シャフトにリティニング カラーを通し、コラム パイプに挿入する。

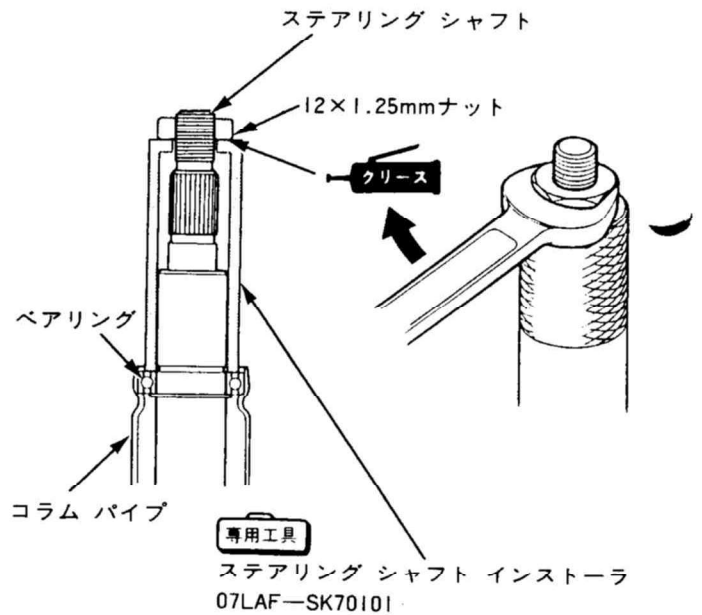
**注意** 取付け時、ステアリング シャフト下部から叩かないこと。専用工具(ステアリング シャフト インストーラ)を用いて取付ける。



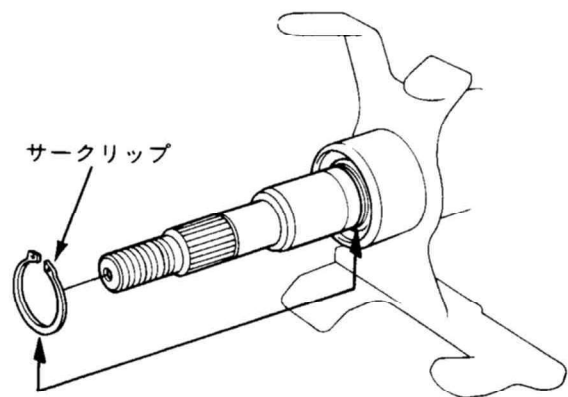
- ③ステアリング シャフト先端部に専用工具(ステアリング シャフト インストーラ)を12×1.25mmナットで取付ける。

★ナットのねじ部およびナットと工具の接触面にグリースを薄く塗布すること。

- ④シャフトの下部を手で固定して、12×1.25mmナットを締込み、シャフトをコラム パイプ内のベアリングに圧入する。



- ⑤専用工具を外し、サークリップをシャフトの溝に取付ける。

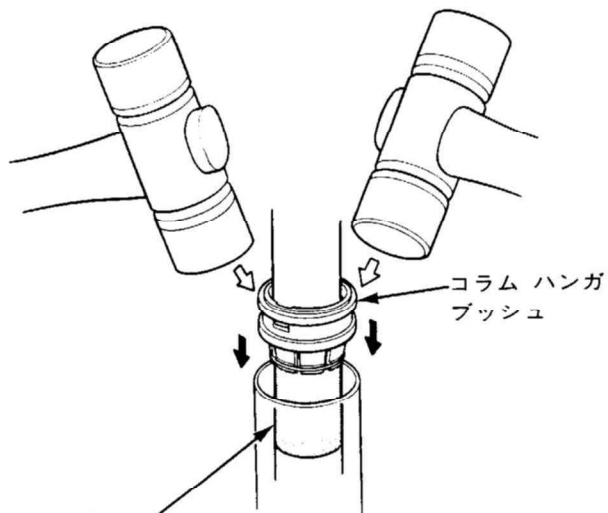


- ⑥取付け後、ステアリング シャフトを回して、滑らかに回転することを確認する。

⑦ステアリング シャフトとコラム ハンガ ブッシュとの摺動部にグリースを2g塗布する。

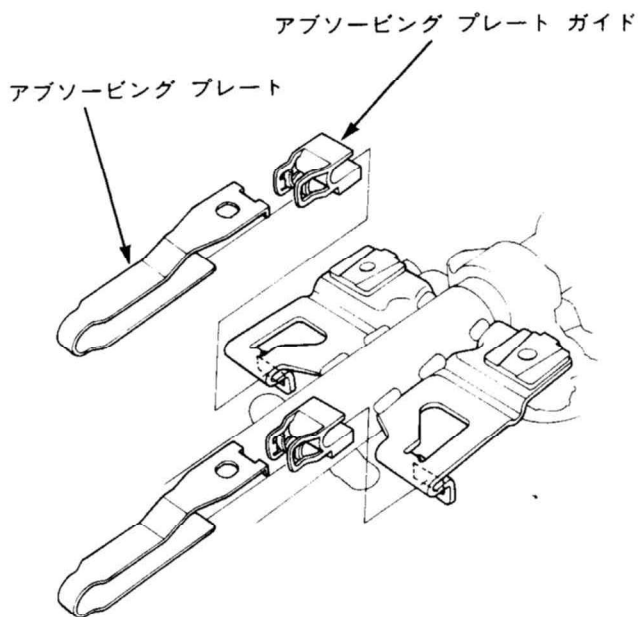
⑧コラム ハンガ ブッシュをコラム パイプ内に打込む。

\*コラム ハンガ ブッシュとコラム パイプ端面が同じになるまで打込む。

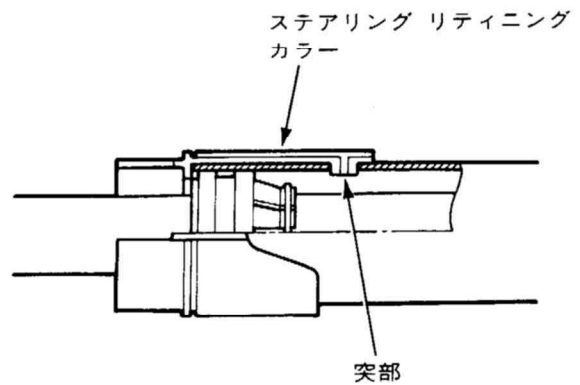


グリース  
(出光オートレックスA  
または、コスモ  
ロード マスタNo.2 2g)

⑨アブソーピング プレート ガイドとアブソーピング プレートを取付ける。



⑩ステアリング リティニング カラーの凸部をステアリング コラムの穴に合わせて、ステアリング リティニング カラーを取付ける。



# コラム

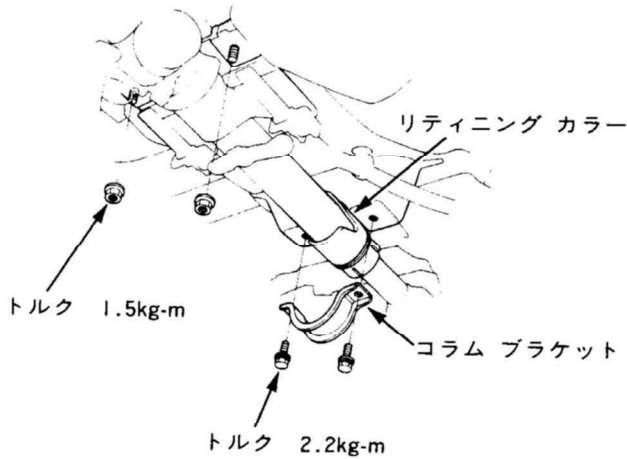
## 取付け

①コラム アッセンブリを仮付けする。

**\***取付け時、リテンション カラーの取付け位置がずれないように注意すること。

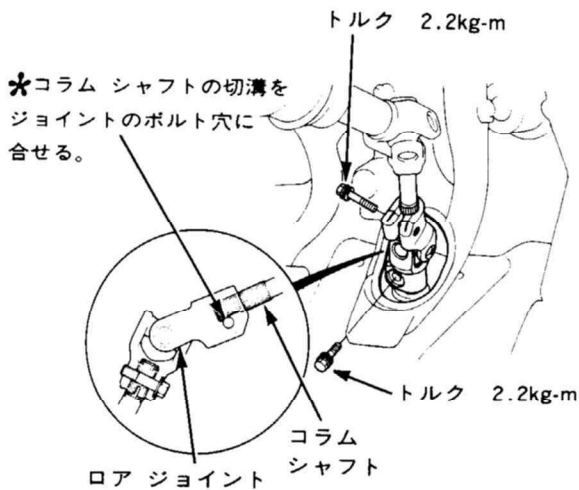
**注意**

- ・コラム アッセンブリを取付ける前に、前輪が直進状態に向いていることを確認する。
- ・ハーネスのワイヤを噛み込んだり、他の部品と干渉したりしないように取付けること。



②ステアリング ジョイントでコラム シャフトとギヤボックスのピニオン シャフトを接続し、ボルトで締付ける。

**\***ステアリング ジョイントは先にコラム シャフト側から取付けて、シャフトの切溝とジョイントのボルト穴を合わせる。



**\***コラム シャフトの切溝をジョイントのボルト穴に合わせる。

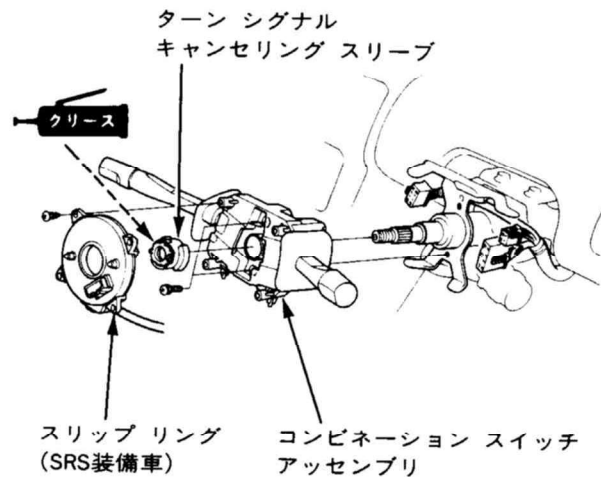
③仮締めしたコラム アッセンブリのボルトとナットを規定トルクで締付ける。

④ステアリング ジョイント カバーをクランプで取付ける。



⑤コンビネーション スイッチ アッセンブリ、ターンシグナル キャンセリング スリーブおよびスリップリング(SRS装備車のみ)を取付け、各カプラを接続する。

**\***キャンセリング スリーブのスリーブ内面に「クリース」出光オートレックス(リチウム系)塗布する。

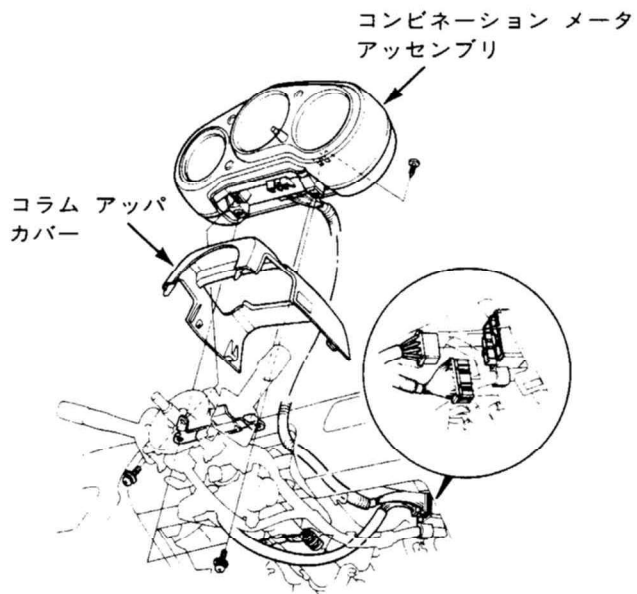




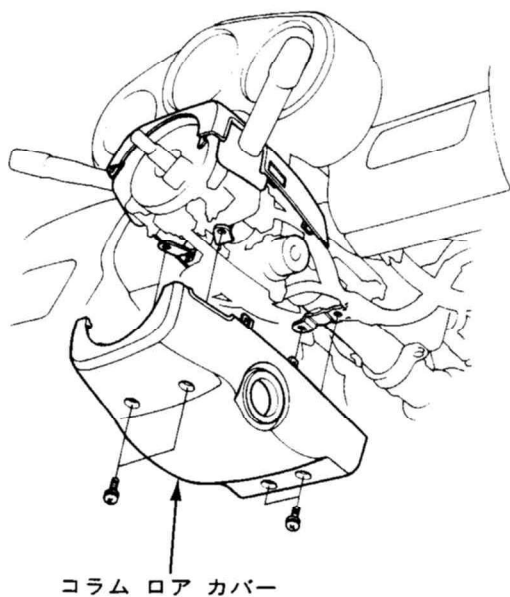
⑥コラム アップ カバーとコンビネーション メータ アッセンブリを取付け後、メータ カバーを組付ける。

⑦コンビネーション メータとイグニッション スイッチのカプラを接続する。

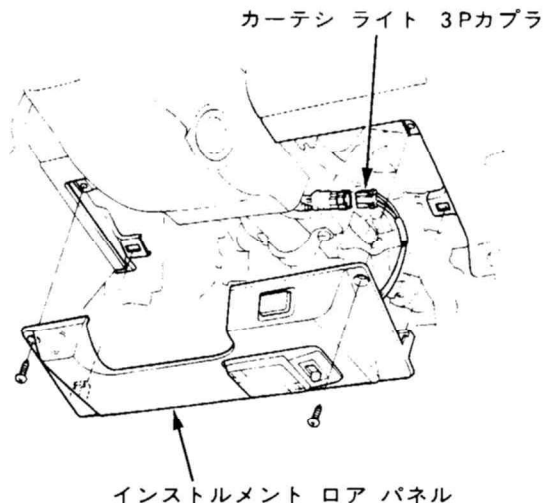
**注意** 各ワイヤ ハーネスを他の部品に引っかけたり、噛み込ませないように組付けること。



⑧コラム ロア カバーを取付ける。



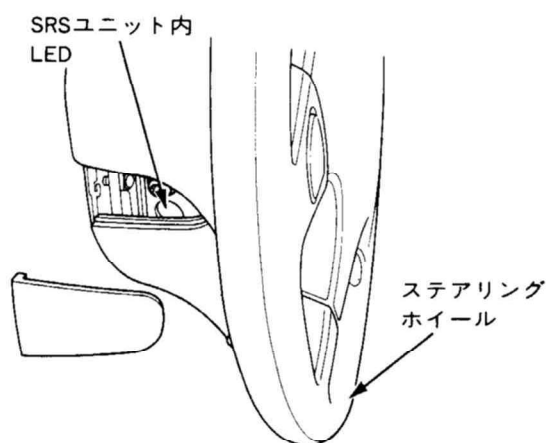
⑨カーテシ ライトのカプラを接続し、インストルメント ロア パネルを取付ける。



⑩ステアリング ホイールを取付ける (11-5、9頁)。

⑪取付後、次の点検を行う。

- ・イグニッション スイッチをONで、約6秒後にSRS警告灯が消灯すること。またSRSユニット内のLEDが正常点滅(1回)表示していることを必ず確認すること。
- ・ホーン スイッチの作動を確認する。

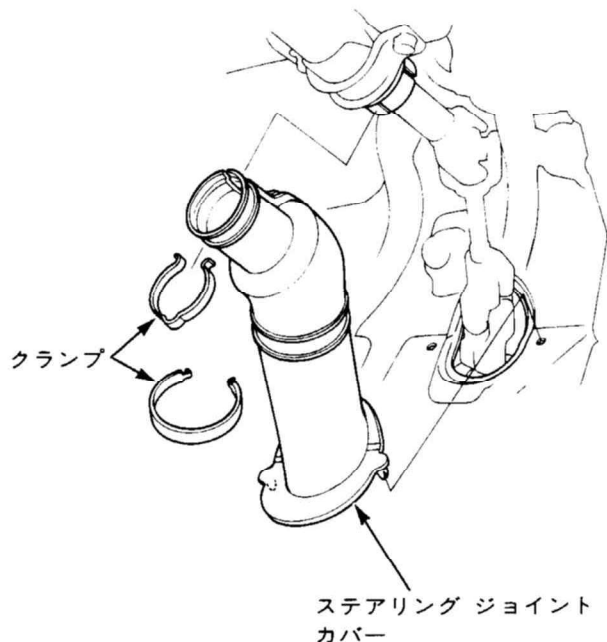


# ギヤボックス

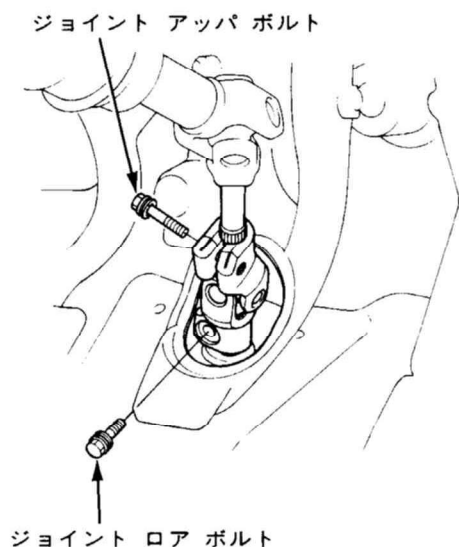
## 取外し

**注意** ステアリングギヤボックスアッセンブリを取外す前に、前輪が進行方向に対して真直ぐであることを確認する。

①ステアリングジョイントカバーを取外す。



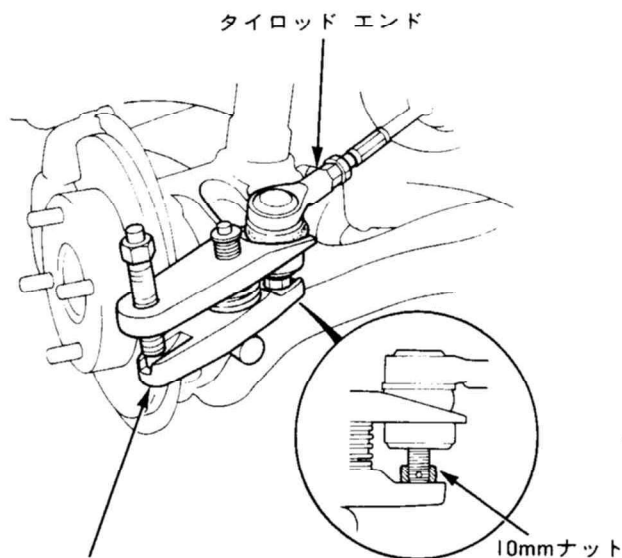
②ステアリングジョイントのアップボルトとロアボルトを取外す。



- ③フロントをジャッキアップして、サイドシル補強部にリジッドラックをあてがい、前輪を取外す。
- ④タイロッドとナックル接続部の割ピンを外し、溝付きナットを取外す。
- ⑤ボールジョイントピンに10mmナットを、ピンのねじ部端面と段差がなくなるまでねじ込む。
- ⑥専用工具(ボールジョイントリムーバ、28mm)を使用して、ボールジョイントをナックルから分離する。

**\***ボールジョイントリムーバ、28mmの取扱いは、12-11頁を参照。

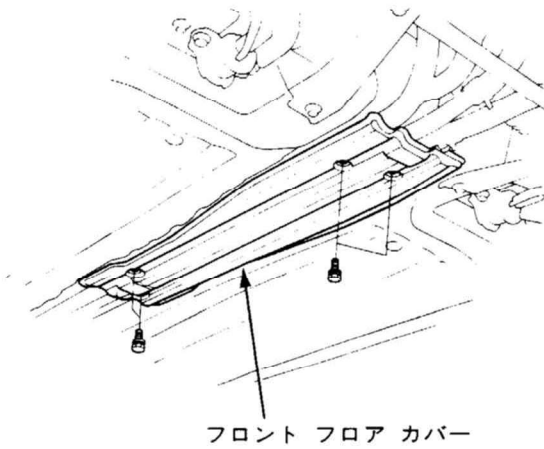
**注意** 専用工具(ボールジョイントリムーバ28mm)は確実に取付けた後、分離作業にとりかかること。確実に取付いていないとプーラでボールジョイントピンまたはブーツに損傷を与えたり、プーラが外れて思わぬ怪我を招くことがあるので充分注意して作業を行うこと。



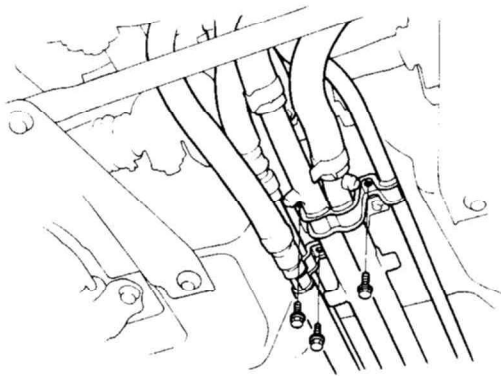
**専用工具**

ボールジョイントリムーバ、28mm  
07MAC-SL00200

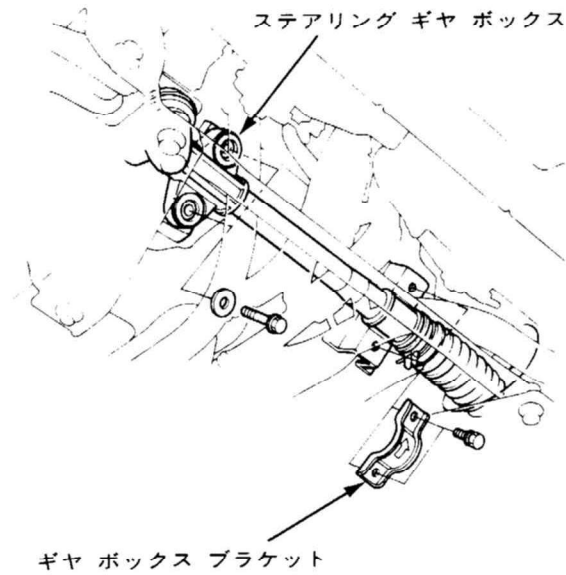
⑦フロントフロアカバーを取外す。



⑧ラジエータパイプとA/Cパイプを固定しているフロント、センタおよびリヤのブラケットボルトを取外す。



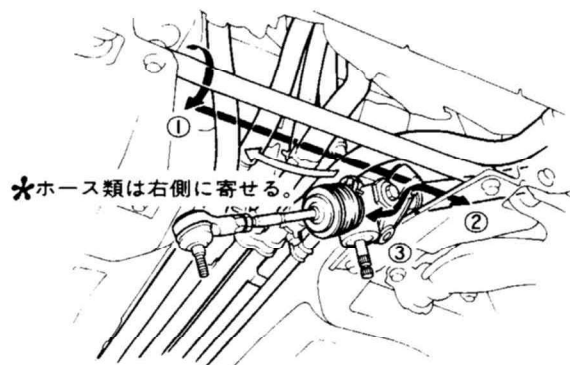
⑨ステアリングギヤボックスをボディから取外す。



- ⑩ギヤボックスアセンブリを180°回転させる。
- ⑪右側タイロッドを左側に縮ませて、ギヤボックスアセンブリを一度左側へ一杯に寄せる。
- ⑫ラジエータパイプとA/Cパイプを右側へ寄せ、右側タイロッドからパイプの下へ通してギヤボックスを取外す。

**注意** ホース類やギヤボックスのブーツバンドに損傷を与えぬよう注意して取外すこと。

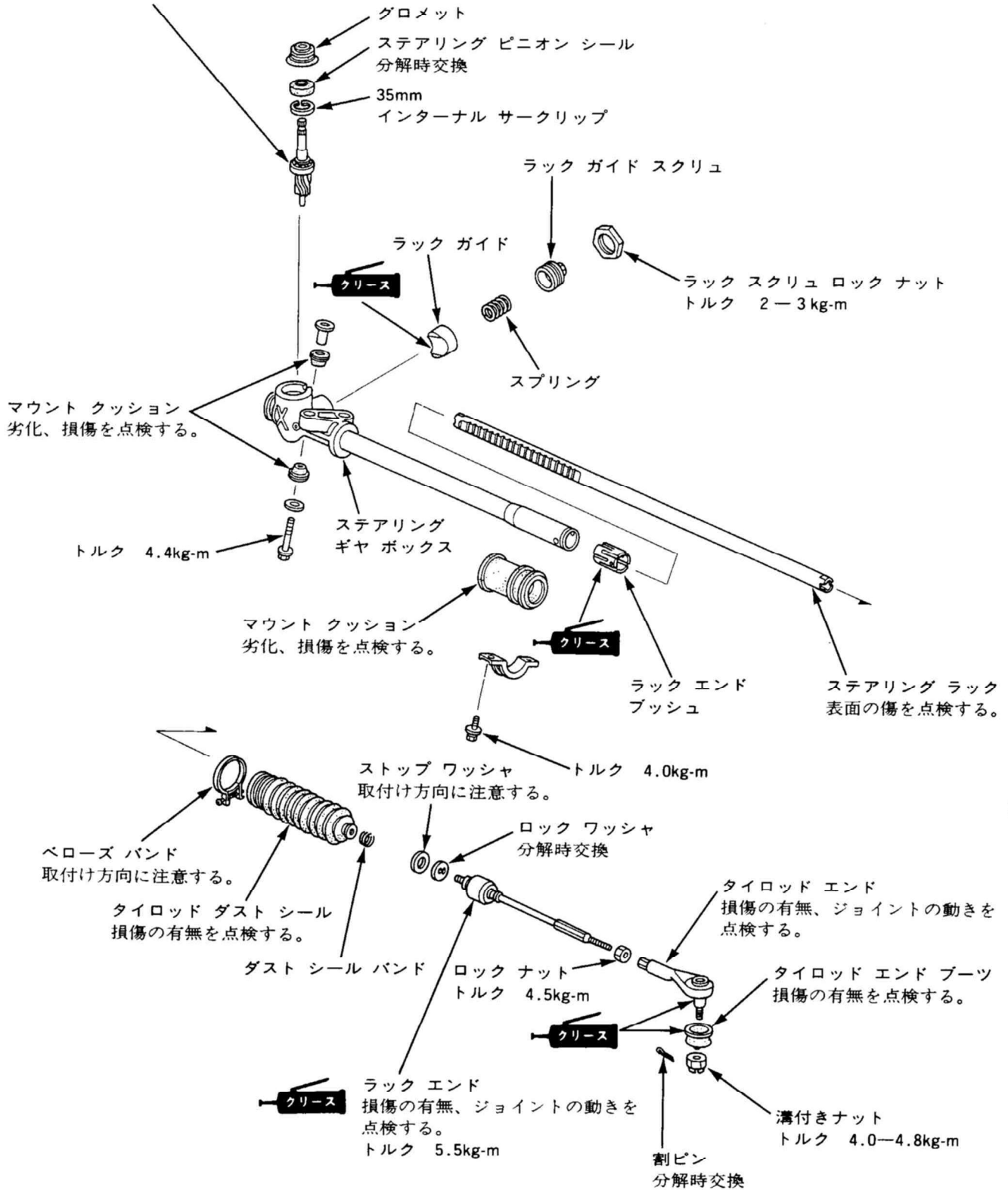
**\***右側タイロッドエンドをギヤボックスから取外すと作業が行い易い。



# ギヤボックス

## 展開図/点検

ステアリング ピニオン アッセンブリ  
ギヤ ボックスから取外した場合、  
アッセンブリで交換すること。



## 取付け

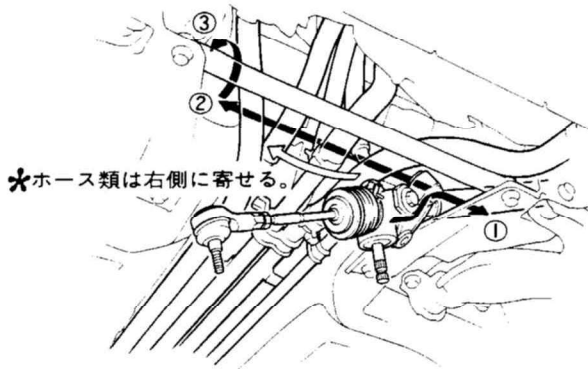
**注意** ホース類やギヤボックスブーツバンドに損傷を与えぬよう注意して取付けること。

**\***右側タイロッド エンドをギヤボックスから取外すと作業が行い易い。

①ギヤボックスを左側タイロッドからフレームの穴へ通し一杯に寄せる。

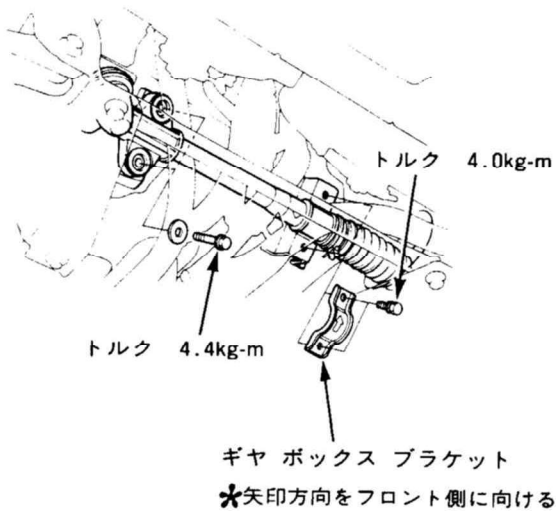
②右側タイロッドを左側へ縮め、タイロッドをパイプの上へ通して取付ける。

**\***ギヤボックスのピニオンシャフトを前方へ向け、ホースの左側から右側フレームに差し込む。ホースの上でギヤボックスを回転させ、ピニオンシャフトを室内側へ向ける。



③ギヤボックスアッセンブリをフレームに取付ける。

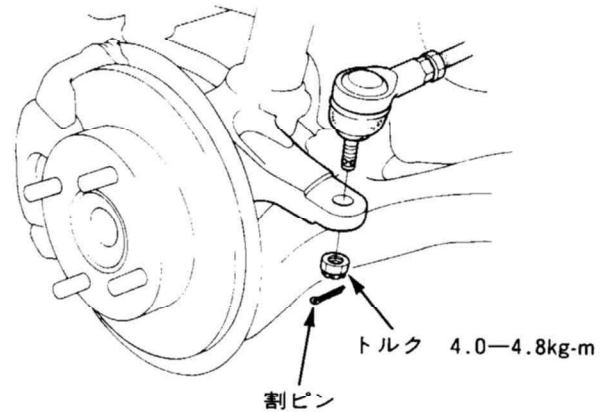
**\***取付け後、左右のタイロッドは直進位置に戻しておく。



④タイロッドをナックルに接続する。

**注意**

- ・ボールジョイントのテーパ部から、グリースや異物を拭き取ってから、取付けること。
- ・溝付きナットによる締付け箇所は、下限トルクで締付けた後、締付け方向にナットを回してピンの穴位置を合わせる。ゆるめ方向にナットを回してピン穴位置を合わせないこと。

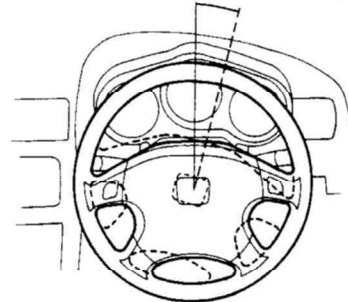


⑤ステアリングホイールのスポーク角を調整する。

**\***SRSエアバッグ装備車は下記の要領でスポーク角を調整する。但し、SRSエアバッグ非装備車については、ステアリングホイールを外してスポーク角の調整を行っても良い。

- 1) ロアジョイントをコラムシャフトとギヤボックスのピニオンシャフトに仮接続する。
- 2) ステアリングホイールを左右いっばいにまわし、ホイール据切りの中間位置(ステアリングラックの直進位置)にする。
- 3) ピニオンシャフトの位置を動かさないようロアジョイントを取外す。
- 4) ステアリングホイールを直進位置にする。

ステアリングホイールを直進位置に修正する。

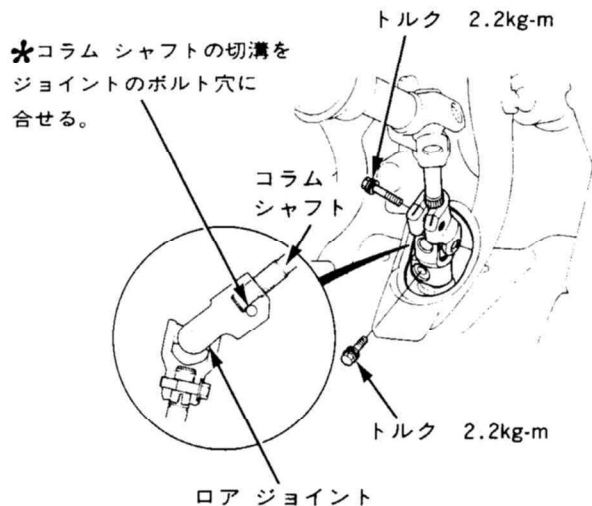


# ギヤボックス

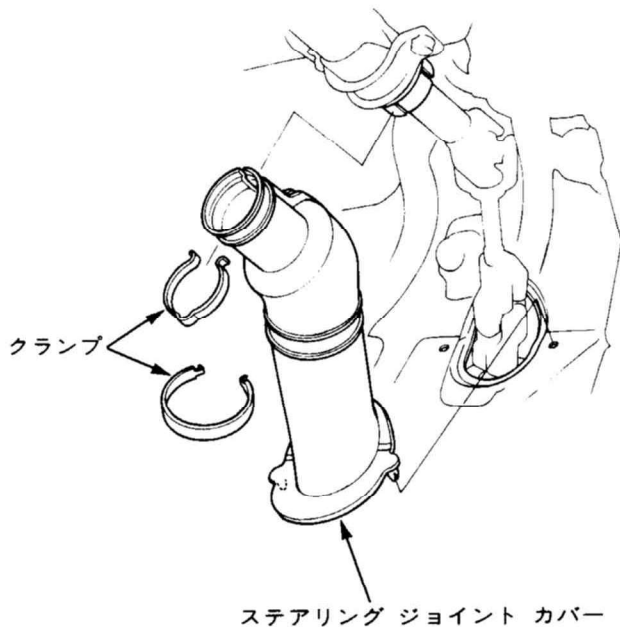
## 取付け

5) コラム シャフトとピニオン シャフトの位置をずらさないように注意し、再度ロア ジョイントで接続する。

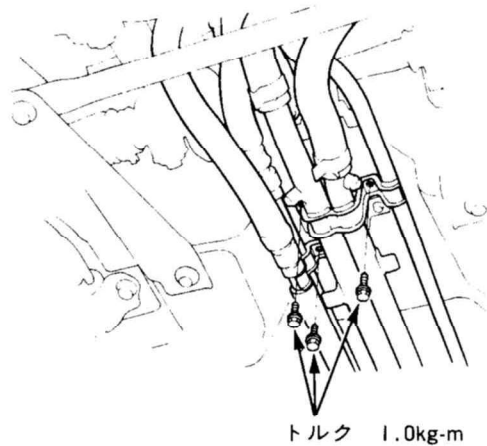
**\***コラム シャフト側の接続は、ロア ジョイントのボルト穴とコラム シャフトの切溝を合せる。



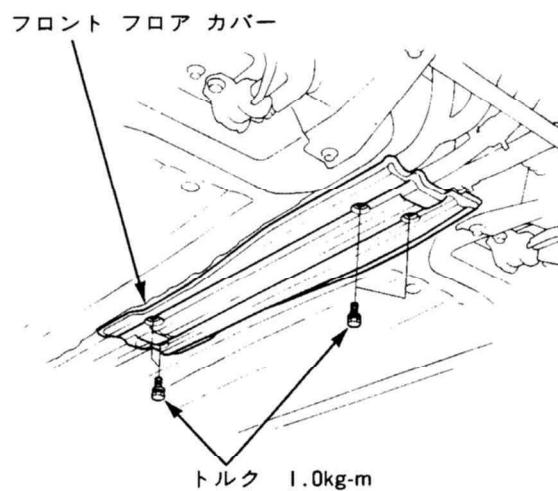
⑥ステアリング ジョイント カバーをクランプで取付ける。



⑦ラジェータ パイプとA/Cパイプのブラケットをフレームに締付ける。



⑧フロント フロア カバーを取付ける。



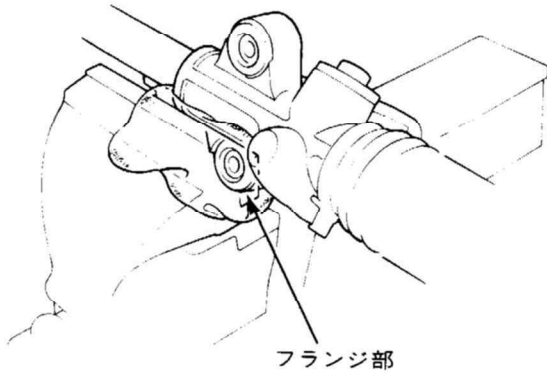
⑨取付け後、下記の点検を行う。

- ・フロント トーの点検を行う。
- ・ステアリング ホイールのスポーク角の点検を行い、もし必要ならばタイロッドを回して微調整を行う。

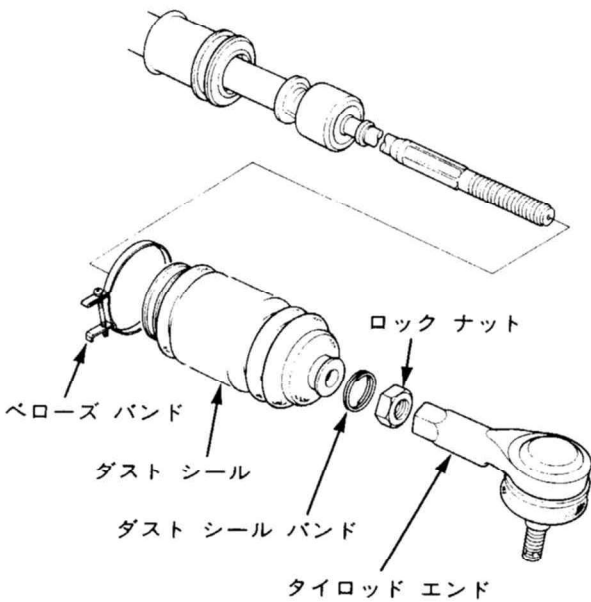
**\***タイロッドで微調整を行う場合、左右タイロッドは同量分だけ回すこと。

## 分解

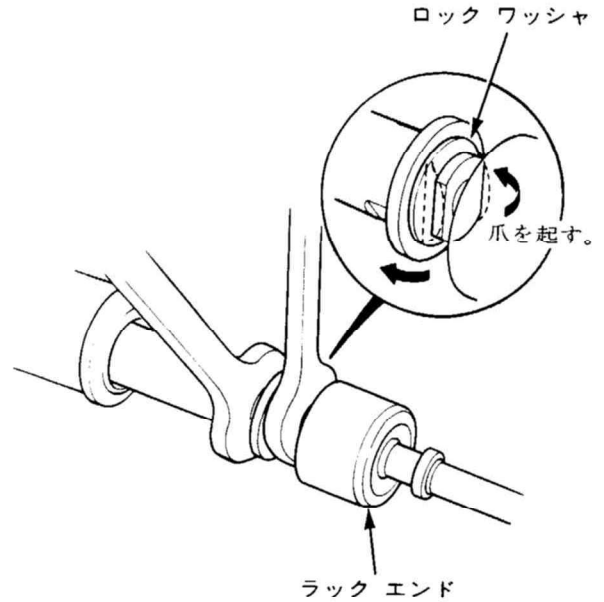
**注意** バイスを用いて作業する場合、ステアリングギヤボックスの変形を防ぐ為、フランジ部に必ずウエス等を介してバイスに保持すること。



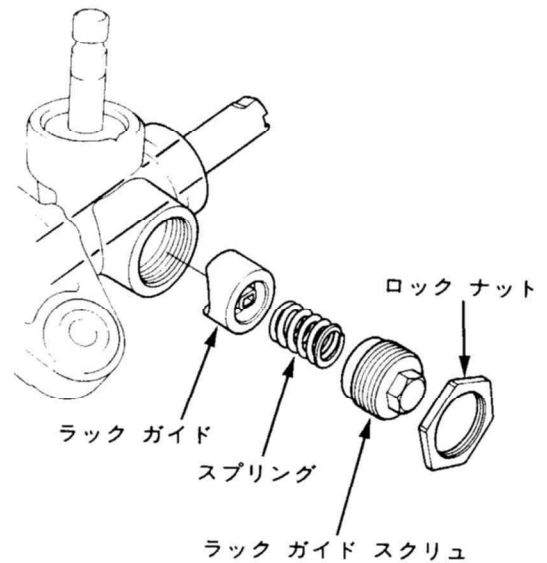
- ①ロック ナットをゆるめて、タイロッド エンドを取外す。
- ②ベローズ バンドとダスト シール バンドを外し、タイロッド ダスト シールを取外す。



- ③タイロッド ロック ワッシャの爪を起す。
- ④ラックを押え、ラック エンドを取外す。



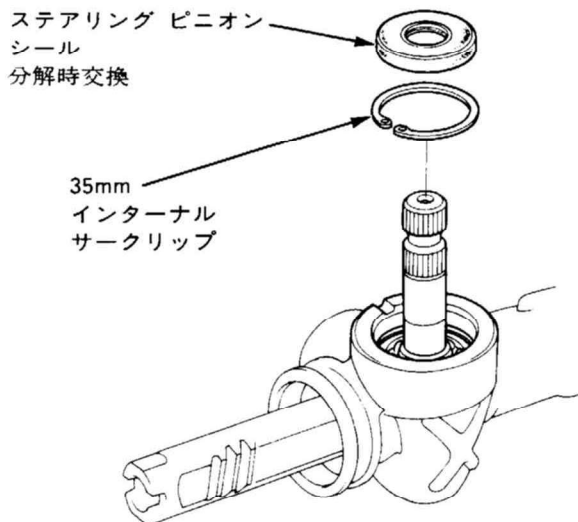
- ⑤ロック ナットを専用工具(ロック ナット レンチ、40mm)で取外す。
- ⑥ラック ガイド スクリュを取外す。
- ⑦プレッシャ スプリングとラック ガイドを取外す。



# ギヤ ボックス

## 分解

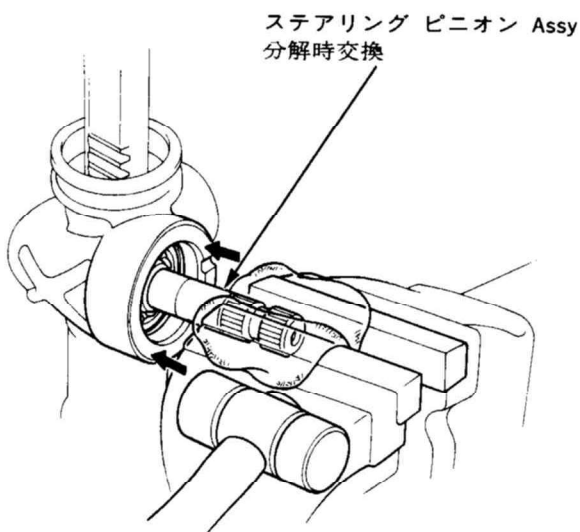
- ⑧ステアリング ピニオン シールを取外す。
- ⑨ギヤハウジングから35mmインターナルサークリップを取外す。



**\***ステアリング ピニオン Assyを取外した場合、再使用しないこと。

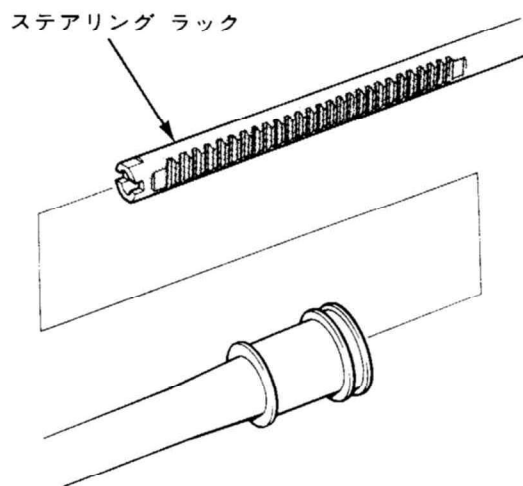
- ⑩ピニオン シャフト部をバイスにしっかりと固定する。
- ⑪ギヤボックスのフランジ部の周囲を均等にプラスチックハンマで叩き、ステアリング ピニオン Assyを取外す。

**注意** ステアリング ラックを叩かないようにすること。



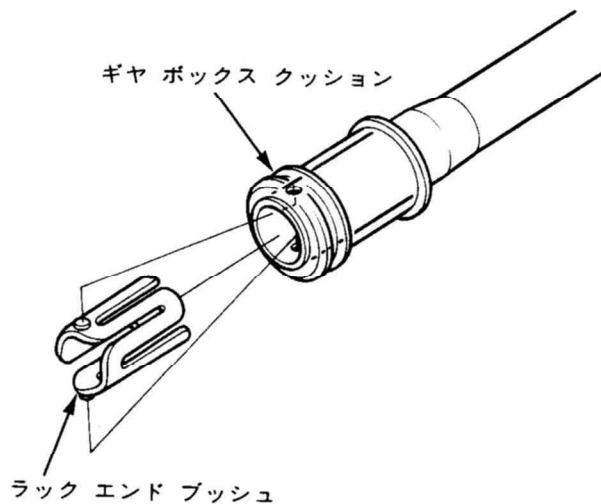
- ⑫ステアリング ラックを取外す。

**注意** ステアリング ラックの摺動面と歯面に傷を与えないよう注意すること。



- ⑬ラック エンド ブッシュを取外す。

**\***ギヤボックス クッションの交換が必要な場合は、カッタナイフ等を用いて取外す。この時、ギヤボックスパイプ部の塗装面に傷を付けぬよう注意すること。



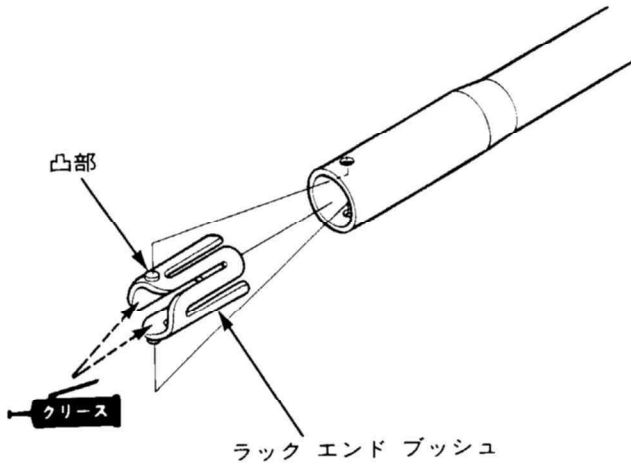


## 組立て

- ①ラック エンド ブッシュの内面に、グリースを1-3g塗布する。

**注意** グリースの塗布は、規定量を守り溝部を避けて行うこと。塗布量が多すぎると、空気の流れをふさぐことがある。

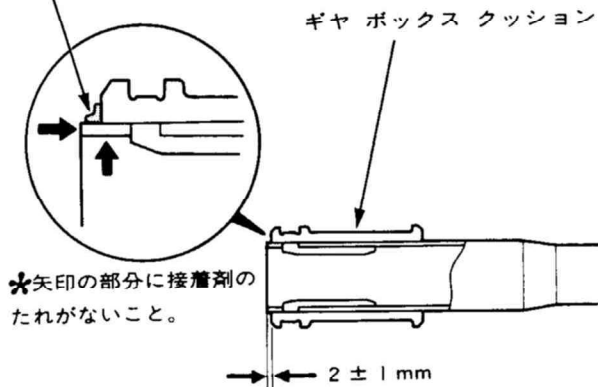
- ②ラック エンド ブッシュの位置決め凸部をギヤボックスの穴に合わせて、ラック エンド ブッシュをギヤボックスに取付ける。



- ③ギヤボックス クッションを、ギヤボックスの端面から $2 \pm 1$ mmのところへ取付けて接着する。

\*接着剤は、セメダイン#3000または相当品を塗布する。

\*ギヤボックスとクッションのすき間全周にも接着剤を塗布する。

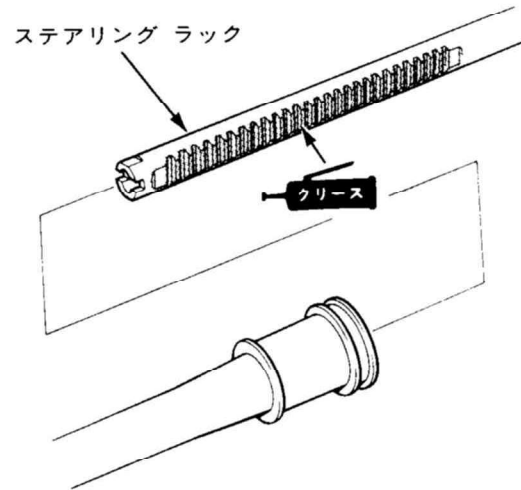


\*矢印の部分に接着剤のたれがないこと。

**注意** 接着剤塗布時、ステアリングギヤボックスの端面および内側に接着剤のたれがないこと。

- ④ステアリングラックにグリースを5-10g塗布し、シリンダハウジングに取付ける。

**注意** ステアリングラックの摺動面に傷を与えないようにすること。



- ⑤ステアリングラックを中間位置にし、専用工具を用いてステアリングピニオンAssyを圧入する。

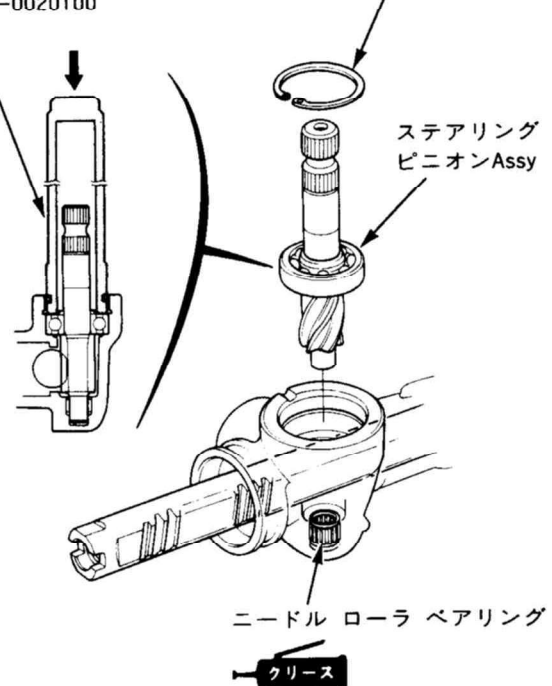
- ⑥35mmインターナルサークリップをギヤハウジングの溝に取付ける。

**専用工具**

インナハンドルB  
07746-0020100

35mm

インターナルサークリップ

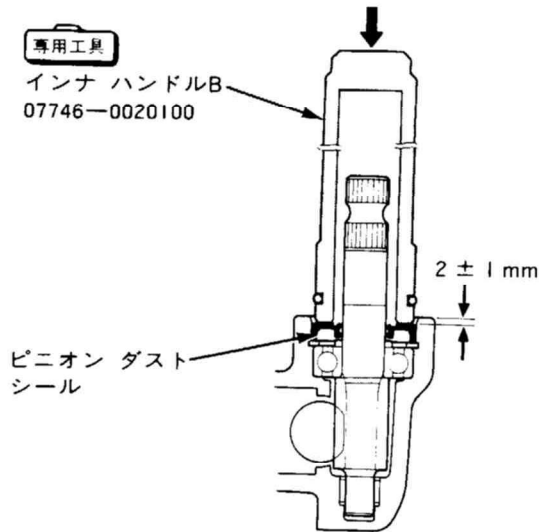


# ギヤボックス

## 組立て

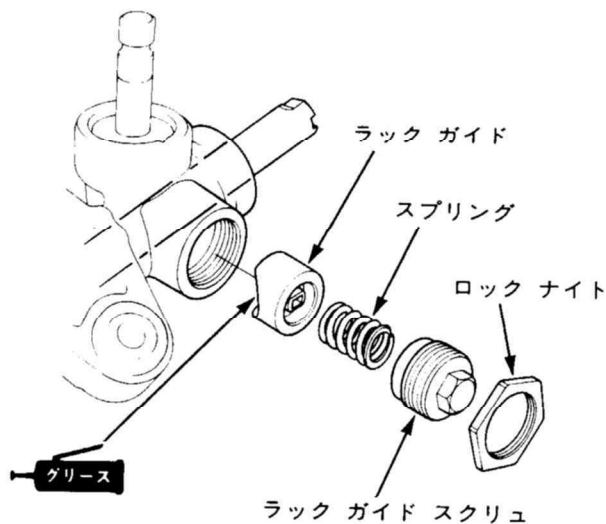
⑦ステアリング ピニオン ダスト シールを専用工具を用いて圧入する。

★ダスト シールは、ギヤ ボックス端面から下記寸法になるよう均一に取付けのこと。



⑧ラック ガイド摺動面にグリースを塗布し、ラック ガイド、プレッシャ スプリング、ラック ガイド スクリュをギヤハウジングに取付ける。

★ラック ガイド スクリュのねじ部3山以上に、シール剤スリーボンドNo. 2または相当品を塗布する。



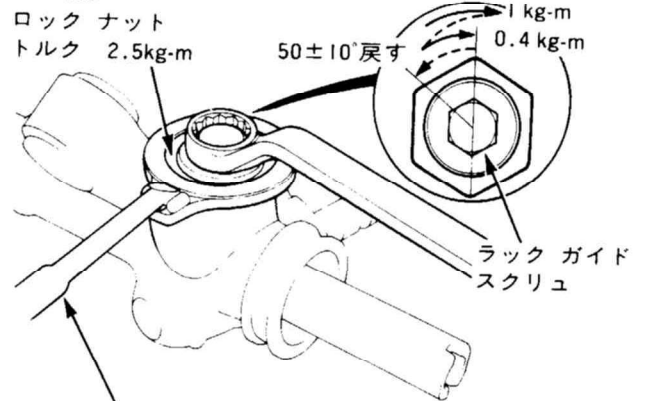
⑨ラック位置を直進状態にする。

⑩ラック ガイド スクリュは 1 kg-m で一度締付けて戻し、再度 0.4 kg-m で締付け、 $50 \pm 10^\circ$  戻す。

⑪ラック ガイド スクリュをレンチで固定し、ロック ナットを規定トルクで締付ける。

★調整後、ピニオン トルクが 5 ~ 13 kg-cm であることを確認する。

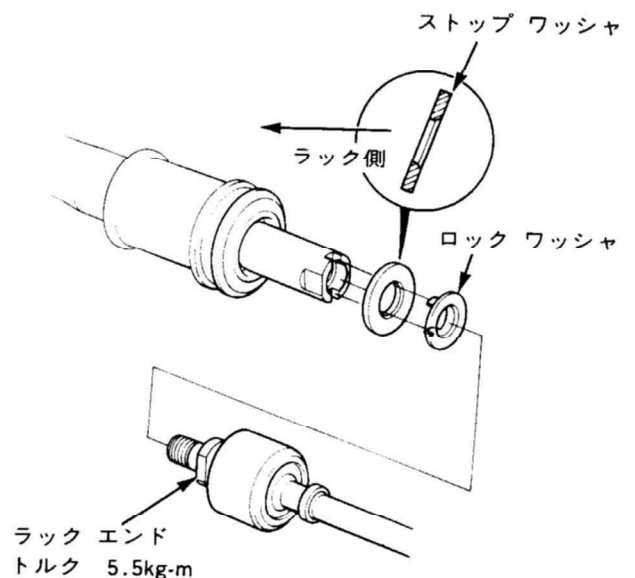
・専用工具を使用してロック ナットを締付ける場合、トルク レンチの読み値と実際のトルクに差が生じるので注意すること。レンチの読み値の求め方は11-4頁参照。



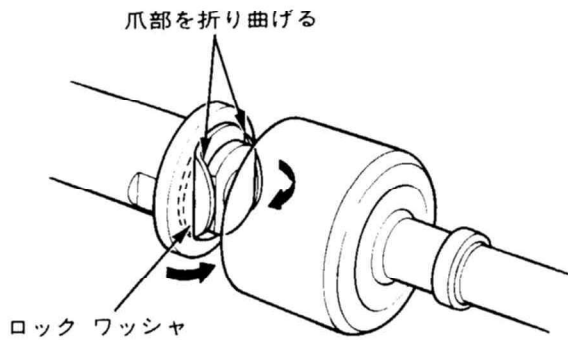
⑫ストップ ワッシャ、ロック ワッシャをステアリング ラックに取付ける。

★ロック ワッシャの爪部を確実にラックの溝に取付けること。

⑬ラック エンドをステアリング ラックに締付ける。

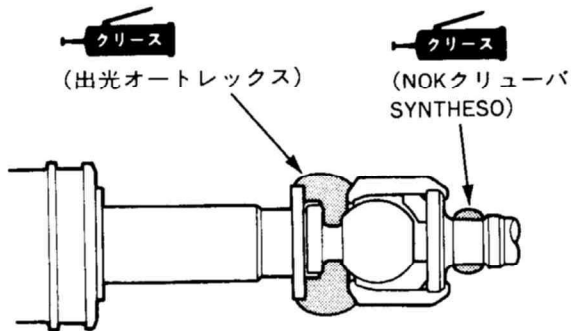


⑭ロック ワッシャの爪部2面を確実に折り曲げる。



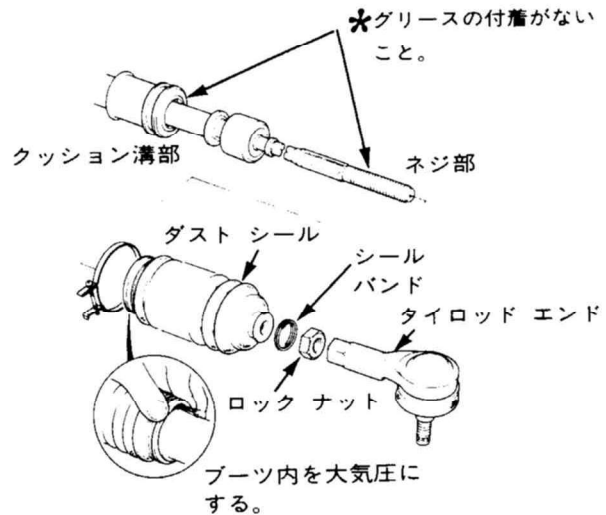
⑮ラック エンド ボール ジョイント部全周にグリース(出光オートレックスA)を5g以上塗布する。

⑯タイロッド ダスト シールの摺動部全周にグリース(NOK クリュウバ SYNTHESO)を0.3g以上塗布する。



⑰タイロッド ダスト シールをシール バンドで取付ける。

\*タイロッド ダスト シールは、ギヤ ボックスおよびラック エンドの取付け溝に確実に取付けること。  
 ・ベローズ バンドを締付ける前に、ステアリング ラックを直進位置にし、左右ダスト シールのギヤ ハウジング側をめくってシール内を大気圧と同じにする。

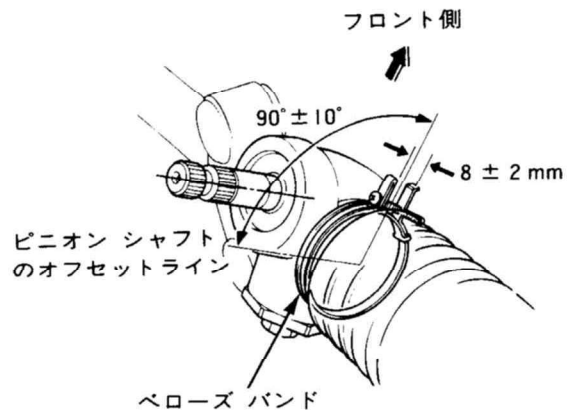


**注意** ラック エンドねじ部、クッションのシール取付け部にグリースの付着がないこと。もし付着がある場合は拭きとる。

⑱タイロッド エンドを取付け、ロック ナットを仮締めする。

⑲左右のベローズ バンドをダスト シールに取付け、バンド端部間が下記の寸法になるようスクリュを締付ける。

\*左側ベローズ バンドは、右側ベローズ バンド(下図)と同様の角度に取付けのこと。



⑳ラックを作動させ、左右のタイロッド ダスト シールにつぶれやねじれがないか確認する。

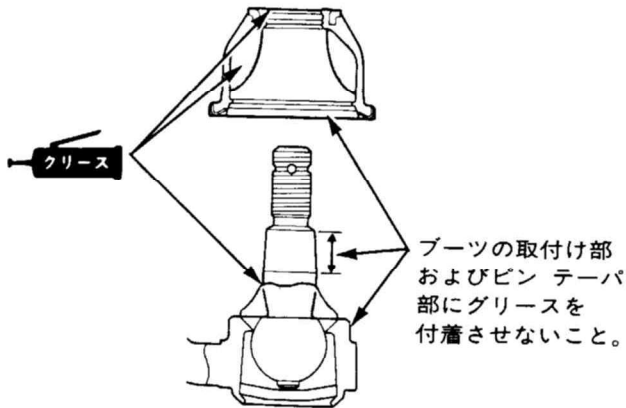
# タイロッド エンド

## ボール ジョイント ブーツの交換

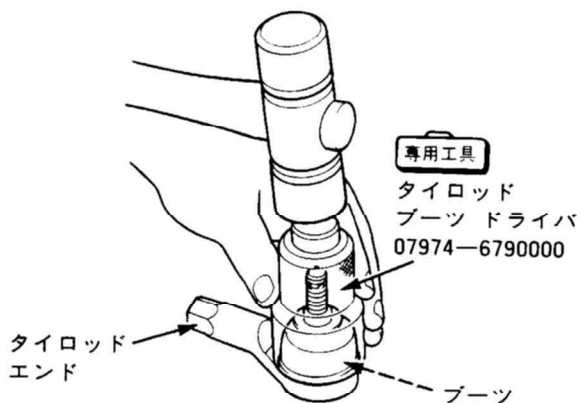
- ①タイロッド エンドとナックルの接続を外す。
- ②ラック エンドからタイロッド エンド アッセンブリを外す。
- ③ボール ジョイント ブーツを取外す。
- ④ボール ピン摺動部のグリースを拭きとり、新しいグリースを充填する。
- ⑤ブーツ内部及び、リップ部にグリースを充填する。

### 注意

- ・ブーツ取付け部及び、ボール ピン テーパ部にグリースを付着させないこと。
- ・ブーツ内部には、絶対にゴミ等を入れないこと。
- ・**グリース**マークは日石リノパックスDX No. 2を使用する。
- ・取付け時、ネジ部にグリースを付着させないこと。



- ⑥専用工具(タイロッド ブーツ ドライバ)を用いて、ブーツをジョイント ハウジングに圧入する。
- ★取付け後、タイロッド エンドとブーツの間に、セメダイン #570相当品を塗布してシールする。



- 注意** ブーツ取付け後、ボール ピン テーパ部及びネジ部にグリースが付着していたら、必ず拭きとること。